

ゆうでんかい、大阪電気通信大学友電会

大阪電気通信大学同窓会組織

YU DENKAI

The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University

No.129
2018/5



- ㊤ 2階から記念撮影
- ㊦ 卒業生
- ㊧ 学位記を掲げての記念撮影





2018.3.24 10:35



2018.3.24 11:00

㊦「大学歌」斉唱

学位記の授与

学位授与式

【平成29年度各学部の卒業生】

- ・工学部(5学科) 397名
- ・医療福祉工学部(3学科) 171名
- ・情報通信工学部(2学科) 193名
- ・総合情報学部(4学科) 282名
- ・金融経済学部(2学科) 72名
- 合計 1115名

【平成29年度大学院の修了生】

- ・工学研究科 32名
- ・医療福祉工学研究科 8名
- ・総合情報学研究科 17名
- 合計(修士課程) 57名
- ・工学研究科 2名
- ・医療福祉工学研究科 1名
- 合計(博士後期課程) 3名

【平成30年度各学部の入学生】

- 工学部(6学科) 559名
- 医療福祉工学部(3学科) 203名
- 情報通信工学部(2学科) 281名
- 総合情報学部(4学科) 372名
- 合計 1415名

【平成30年度大学院の入学生】

- 工学研究科 37名
- 医療福祉工学研究科 11名
- 総合情報学研究科 24名
- 合計(修士課程) 72名
- 工学研究科 2名
- 医療福祉工学研究科 1名
- 合計(博士後期課程) 3名

㊦入学生代表が「宣誓」



2018.3.24 10:45

女子バスケット部員が卒業生に花束贈呈



2018.3.24 10:56

記念撮影



2018.4.3 10:23

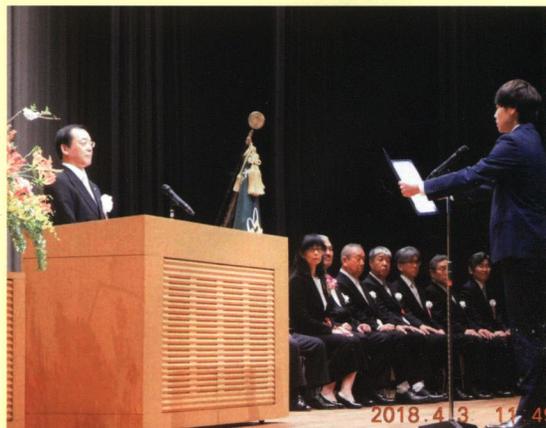
先輩が新入生に対してクラブへの勧誘



2018.4.3 10:38

入学式

「入学式」看板の前で記念撮影



2018.4.3 11:00

母校「平成29年度 学位授与式」 挙行される

「ご卒業おめでとうございます。友電会の正会員として歓迎いたします」一母校では平成30年3月24日(土)、母校・四條畷キャンパスのコナミホールで「平成29年度 学位授与式」を挙行しました。卒業生は1,175人(学士:1,115人、修士:57人、博士:3人)で、3回に分けて行われました。

「学位授与式」は24日午前10時から工学部・医療福祉工学部、午前11時30分から情報通信工学部・総合情報学部・金融経済学部、午後2時から大学院の卒業・修了生に学位記が授与されました。

各学科の卒業生代表に大石利光理事長・学長から学位記が授与され、式典終了後に、各教室に戻って全卒業生に学位記が手渡されました。

大石理事長・学長は告辞で、「社会に出て活躍するためには3つの基本があります」と語り、「言葉遣いを大切にす

ること」、「自分にして欲しいことを他の人にしてあげること」、アンドリュー・カーネギーの言葉である「どんな仕事でも、その仕事の第一人者になれということ」が重要であるとしています。

「目標を持って目の前のことに真剣に取り組めば、必ず道が開ける」ことを卒業生に伝えていました。

さらに大石理事長・学長は、「5万人を超える卒業生が巣立っている」とし、多くの先輩が第一線で活躍しているとしています。こうした先輩に続いて「本学の卒業生として後輩の模範になっていただきたい」と語り、卒業生の輝かしい未来に期待しているとの言葉で結びました。

引き続き、「学業優秀賞」が授与され、「大学歌」を斉唱して式典は終了しました。

式典の前後には、コナミホールの入

り口に設置された「学位授与式」の看板を中心に、学友や家族と記念撮影するなどの光景がみられ、後輩らによる花束贈呈なども各所で行われていました。女子バスケット部員は、体育館の前で卒業生に花束を贈ったりしていました。

また、女子学生は着物に袴姿とあでやかで、卒業式にふさわしいものになっていました。学部によってはコナミホールの前で校舎の2階から記念撮影するなど、別れを惜しみながらも、晴れやかな表情で巣立っていきました。

「KOZUKI ホール」の生協ショップ前では猫2匹が愛嬌をふりまき、「学位授与式」を祝福するかのように1号館前の「ヤマザクラ」2本が満開になっていました。ちなみに、四條畷キャンパス内の桜はまだ蕾でした。

母校「入学式」—四條畷キャンパスで挙行

「ご入学おめでとうございます。大歓迎いたします」一母校では「平成30年度入学式」を平成30年4月3日(火)に四條畷キャンパスのコナミホールで挙行いたしました。入学生は学部(編入学を含む)、大学院合わせて1,490人。入学を祝福するかのように桜が満開に咲き誇る中で、新たな大学での学生生活をスタートさせました。

式は、午前10時から「情報通信工学部」「医療福祉工学部」、午前11時30分から「工学部」、午後2時から「総合情報学部」、午後3時から「大学院」の4回に分けて挙行されました。

式典はスクリーンに「平成30年度大阪電気通信大学入学式」と映し出され、大学を紹介する映像が流れました。

この後、各学部・学科別に入学生が起立し、大石利光理事長・学長は「入

学を許可します」と述べました。

大石理事長・学長は、「告辞」の中で「学生生活を通じて立派に成長し、4年後に全員が卒業することを期待しています」と祝福の言葉を語りました。

そして、「学生生活で大事なことが3つあります」としています。1つ目は、「しっかり学ぶこと」、2つ目は、「基本マナーを磨いて身に付ける」、3つ目は、「大きな夢を持ってほしい」ということです。

「人は夢を持つことで力が出ます」とし、「夢を持つことで挑戦するパワーが生まれる。夢なき者に理想なし、理想なきものに計画なし、計画なきものに実行なし、実行なき者に成功なし、故に夢なき者に成功なし」と吉田松陰の名言を引用した言葉を贈りました。

最後に大石理事長・学長は、「大きな

夢を持って学び、マナーを身につけ、充実した楽しい4年間を過ごされることをお祈りします」と語りました。

引き続き各学部の新入生が、「学生としての心得を守り、勉学に励み……」と「宣誓」し、大石理事長・学長に「宣誓書」を手渡しました。

全員が起立し、「浪速の東淀川に茂れる若きわれら葦……」—「大学歌」を斉唱し、式典を終えました。

入学式が行われたコナミホールに通じる、体育館前では、クラブへの先輩学生が長い列を作り、新入生にピラを配るなど大変な賑わい。新入生の中には、手に持てないほどのピラで、びっくりした表情を見せていました。

また、「入学式」看板の前では新入生と保護者が記念写真を撮る姿や、満開の桜を背景に記念写真に納まるなど、活気にあふれていました。

ゆうでんかい

第129号 2018年5月15日

大阪電気通信大学・同窓会組織 友電会会誌

- 大石利光 新理事長・学長あいさつ ----- 6
- 「平成30年度友電会通常総会・合同懇親会」案内 ----- 8
- 「平成30年度友電会通常総会」議案 ----- 10
- 「クラブ同窓会」平成30年度通常総会議案 ----- 24
- 「大阪電気通信大学高等学校同窓会会報」 ----- 26
- 「母校・最終講義」相次いで開催 ----- 27
- 母校「2017年度 退職者送別会」開催される ----- 28
- 「2017年度リーダーズサミット」を開催 ----- 29
- 母校の「硬式野球部」コーチに元プロ野球選手が ----- 30
- 母校学生デザインの「御当地ナンバープレート」 ----- 31
- 「支部だより」-支部総会・懇親会 ----- 32
 - ・大阪支部・九州支部・京都支部・北関東支部
 - ・奈良支部・東海総支部・千葉支部・茨城支部
 - ・三田支部・神戸支部・神奈川支部・びわこ支部
- 「OB会だより」
 - ・ワンダーフォーゲル部・軽音楽部
 - ・「JA3YBF」無線通信技術部
- 「トピックス」 ----- 49
 - ・平成30年度各支部総会開催日程
 - ・「びわこ支部総会・懇親会」案内

ホームページ <http://www.yudenkai.org/>

■会誌への投稿や事務局への連絡等はE-mailかFAX.で
友電会事務局 FAX. 072-824-1197
E-mail : yudenkai@yudenkai.org

2018年5月15日 第129号

発行所/大阪電気通信大学友電会(大阪電気通信大学同窓会組織)

The Alumni Association of
YUDENKAI Osaka Electro-Communication University

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号
18-8 Hatsu-Machi Neyagawa-City Osaka Japan 572-8530
(友電会直通) TEL. 072-824-3111 FAX. 072-824-1197
(大学代表) TEL. 072-824-1131 内線 3266
郵便振替番号 00990-5-49361

発行責任/ 友電会会長 福田 武
編集責任/ 友電会事務局長 柴垣 佳明
編集/ 吉田 祐三
資料提供/ 学校法人大阪電気通信大学
大阪電気通信大学事務局他

寄贈先/ 大阪電気通信大学関係先をはじめ他大学同窓会
並びに国立国会図書館逐次刊行物部、その他

購読料/ 2年間 1,000円
(卒業後3年間は無料配布、総会通知号は全会員に)

印刷/ ダイコロ株式会社

大学
学章

電子工学・通信工学を中心とする大学の象徴として、原子内電子軌道を図案化したものをバックに、「大学」を白抜き文字で配している。この純白は、清廉・潔白な人材の育成と、祈りと、希望がこめられてつくられた。

会誌購読のお願い

■購読料: 2年間 1,000円

友電会では、会員諸氏相互の「情報・交流・親睦の場」として、会誌「ゆうでんかい」を発刊しています。

なお、卒業後3年間は、無料です。また、法人化入会金を納入されている方は無料です。

会誌発送用の宛名の「記号」について

(封筒の宛名シール)

購読の残年数

(この場合は、「あと1年」です)

友電会会員番号

E01XXX-01

卒業学科
(この場合
電子工学科)卒業期
(この場合
1期生)

番号

■編集後記

- ・「平成30年度友電会通常総会・合同懇親会」が6月23日(土)に母校・寝屋川キャンパス「J号館」で開催されます。「目玉」は、大石利光理事長・学長による「記念講演会」。テーマは「学園80周年に向けた取り組み」で、母校の「将来」が聞けそうです。
- ・友電会では「一般社団法人」化に向け、準備を進めてきました。今回の通常総会に「議案」として提出します。「第8号議案 法人化への定款案」がそれです。法人化は、友電会の安定した運営と、しつては母校の発展につながる「重要案件」です。
- ・今号は全会員に配布する「総会通知号」です。前号は「卒業・入学特集号」で卒業3年間の会員、有料購読会員にのみ送付しています。今号では「友電会」に関する記事を中心に掲載しました。「支部総会・懇親会」の記事が多く、52ページになりました。会員の皆さんからの投稿も歓迎しています。ホームページへの投稿もよろしく。



友電会のホームページに「友電会掲示板」コーナーがあります。会員の皆さんからの自由な意見を掲載、同窓の集いの広場になればと思っています。母校発展に寄与する建設的なアイデアや近況報告などをお寄せ下さい。

大阪電気通信大学 友電会
会長 福田 武



「30年度友電会通常総会」

新たなスタートへ!!

会長の任を受け2年が過ぎましたが、会員の皆様には各業界で、各地域でご活躍のこととお慶び申し上げます。

この間、会の現状把握及び円滑な運営に資するため、各支部の総会、研修会を始め大学の主催する諸行事に、できるだけ参加させていただきました。副会長はもとより役員の方皆さん、そして会員各位の協力、支援の下、無事努めることができましたことを、まずは感謝申し上げます。

さて、今年度の通常総会は、寝屋川キャンパスJ号館で開催することといたしました。本年度は友電会が「一般社団法人」を目指す第一歩として、テーマを「新たなスタート」とし、記念講演会、懇親会も併せて開催します。

懇親会では「緑樹会」(教職員のOB会)及び「クラブ同窓会」と合同で行いますので、退職された恩師など教職員及びクラブ活動された多くの会員が一堂に会します。参加者には、各業界の情報交換の場として、又同窓や世代を超えた交流の場として絆が広まることを期待しています。

■テーマ：「新たなスタート」

友電会は、昨年の卒業生で5万人を超え、この大きな組織を法の下でしっかりと管理、運営できる

よう「一般社団法人」を目指していますが、今年度は定款の承認と法人登記を目標とし、新たなスタートになるよう、テーマといたしました。

■記念講演会

本年度、兼ねて理事長に就任された大石利光学長に講演をお願いしました。

学園では60周年を迎え、5ヵ年計画での教育の新たな取り組みや、寝屋川キャンパス構内整備への取り組みなど、今後の大学運営を中心に近況を語っていただけることでしょうか。会員諸氏にとっても最も関心のあることと思いますので、ぜひ皆様の参加を期待しています。

現在、各大学とも懸案となっていますが、少子化に伴い大学志願者数は減少し、本大学の長い歴史の中においても、非常に厳しい時期を迎えようとしています。

大学が新たな改革に向け取り組んでいる中、我々友電会も法人化をめざして、組織の円滑な運営と強化を図り、大学の発展に寄与できるよう大学及び学生への協力・支援を強固にすると共に、総会・懇親会を通じて会員各位の親睦と絆を深めていただきたいと思います。

●平成30年度通常総会・合同懇親会の案内

- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| ・テーマ：「新たなスタート」 | ・タイムスケジュール |
| ・日時：2018年6月23日(土) | 「総会・懇親会」受付 11:30～ |
| ・会場：大阪電気通信大学
寝屋川キャンパスJ号館 | 11:00～11:25 クラブ同窓会総会 |
| ・会費：2,000円
(同伴者、学生、大学関係者、来賓は無料) | 11:30～11:45 全国支部長会 |
| ・記念講演：「学園80周年に向けた取り組み」 | 12:30～13:45 友電会通常総会 |
| 講師 大石利光 理事長・学長 | 13:00～13:45 緑樹会年次報告会 |
| | 14:00～14:45 記念講演会 |
| | 15:00～17:00 3団体合同懇親会 |

組織を強くして未来へ

大阪電気通信大学
理事長・学長 大石 利光



本学園は、戦後の高度成長期の初期である1941年に、当時の先端技術領域であった電子工学や通信工学といった電気通信技術の学校として発足し、1951年に高等学校を、1961年には大学を設立いたしました。高等学校のスタートは電子工業科でしたが、その後、普通科を加えてコース選択の幅を広げるとともに、現在では大阪電気通信大学の学びに直結したコースも備えています。

また、大学においては工学部電子工学科を設立の後、1962年には同学部通信工学科を開設し、その後も領域を広げ、現在では5学部（工学部、情報通信工学部、医療福祉工学部、総合情報学部、金融経済学部）15学科、大学院3研究科8専攻からなる「技術系総合大学」に成長して参りました。

この間、学園の総力を挙げて「人間力と技術力を兼ね備えた人材の育成」をミッションとした「実学教育」に邁進し、高等学校で2万7千名、大学で5万名を超える卒業生を社会に送り出し、多くの同窓生の方々が社会のいろいろな場で幅広く活躍されています。

このように学園が今日まで成長し続ける事ができたのも、これもひとえに友電会の皆様をはじめ関係各位のご支援、ご協力の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

今後は更なる成長に向け、高大連携の強化をより進めるとともに、これからも社会インフラを支える電

子・情報・通信技術に軸を置きつつ、着実な医療工学分野での教育やICTを強みにした新しい建築学科の構築、ゲーム領域の拡大を図るゲーム&メディア学科の立上げなど、これまで以上に社会の変化を捉えた実践的な教育を推進して参ります。

とりわけ、大学では、「伸ばす大学」として一人ひとりの学生の主体的な学びを支援し、PBL（Project Based Learning）、インターンシップ、産学連携講座、キャリア教育、資格取得に積極的に取り組み、社会で主体的に活躍できる人材の育成に努めて参ります。

最後に学園経営は、集団として目的を明確化して、組織力を発揮できるようにすることだと考えています。本学が今後も社会的役割を果たし続けるためには、これまでの学園の組織風土を変革して、組織力を高めて進んでいく必要があります。この認識の上で、本学園の伝統を継承しつつ、次の50年に繋げることができるよう邁進して参る所存でございます。今後とも、皆様方より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人大阪電気通信大学は前理事長の任期満了にともない、3月8日の理事会において大石利光学長を理事長に選出しました。

任期は2020年3月31日まで。

（記事は母校ホームページ「2018.03.09」掲載より）

【大石理事長プロフィール】

[氏名] 大石 利光（おおし としみつ）
 [生年月日] 1955年1月5日生（満63歳）
 [出身] 長崎県下県郡（現対馬市）
 [専門] 健康運動科学、ヘルスケア機器研究開発
 [略歴]
 1974年3月 大阪府立城東工業高等学校電気科卒業
 1987年6月 コナミ工業株式会社（現コナミホールディングス株式会社）入社
 2000年9月 コナミ株式会社（現コナミホールディングス株式会社）AM（アマューズメント）事業本部副本部長兼 神戸事業所所長
 2003年9月 コナミスポーツライフ株式会社 代表取締役社長

2005年6月 コナミスポーツ株式会社（現株式会社コナミスポーツクラブ）代表取締役執行役員社長
 2009年6月 株式会社コナミスポーツ&ライフ（現株式会社コナミスポーツクラブ）代表取締役執行役員 副社長
 2010年4月 大阪電気通信大学医療福祉工学部健康スポーツ科学科 教授
 2014年4月 大阪電気通信大学医療福祉工学部長
 2015年4月 学校法人大阪電気通信大学理事・評議員
 2016年4月 大阪電気通信大学学長（任期：2020年3月31日）

母校第9代学長・都倉元学長の 「叙勲記念祝賀会」開催される



㊦都倉元学長

平成30年4月15日（日）にホテル「阪急インターナショナル」で、第9代学長・都倉信樹先生の瑞宝中綬章受章を記念する「叙勲記念祝賀会」が盛大に開催されました。

叙勲は、永年にわたる情報科学に関する研究及び教育の功績及び、本学の

学長を務められた功績が認められ、平成29年秋の叙勲において瑞宝中綬章を受章しています。

祝賀会では、本学関係者だけでなく、都倉元学長と関係のある方々が参加し、都倉元学長のこれまでの功績を振り返りました。記念品として、本学3D造形先端加工センターで製作した都倉元学長の肖像メダルを記念品として贈呈しました。

都倉元学長からは、「本日は、ありがとうございます。受章は私の力ではなくて、いろいろな方の支えがあったからだと思います。全ての人に感謝したい。また家内にも感謝しなければなりません」と謝辞が述べられました。（記事・写真ともに母校ホームページ「2018.04.17」掲載より）



「新入生歓迎イベント」 四條畷キャンパスで開催

平成30年4月4日（水）から7日（土）の期間で、新入生歓迎イベントを寝屋川キャンパスと四條畷キャンパスで開催しました。

このイベントは、先輩学生が新入生を歓迎するために開催したもので、課外活動紹介や体育祭、文化会体験イベント、座談会の他、女子学生限定の「女子茶話会」などが行われました。

体育会本部主催の体育祭では、大勢の新入生と先輩学生が、「ドッジボー

ル」や「バレーボール」「サッカー」で一緒に体を動かしながら、和気藹々と汗を流しながらコミュニケーションをとり、新入生を歓迎していました。

常任自治委員会・文化会本部・大学祭実行委員会主催の文化会体験イベント、座談会では、スタンプラリーを開催し様々な団体の活動場所を回り、体験に参加しました。また、女子学生限定の「女子茶話会」は、ケーキを食べながら新入生同士と女性教職員を交えながら、楽しい会話に花が咲いていました。

（記事・写真ともに母校ホームページ「2018.04.12」掲載より）

友電会会員の羽瀨完俊（E01）氏 「平成30年度春の叙勲」で受賞



「平成30年度春の叙勲」で、友電会1期生の羽瀨完俊（E01）氏が「瑞宝小綬章」を受賞しました。おそらく、友電会会員では初の「受賞」だけに友電会内では大変な喜びです。

受賞した羽瀨氏は、昭和40年に母校を卒業後、海上自衛隊に入隊し、技術幹部を経て総合幹部として研究開発、部隊司令など多岐にわたって活躍・貢献し、海特補で退職されました。

内閣府では、春秋叙勲として年に2回、国家または公共に対して功労のあった者、社会の各分野で優れた行いに対して表彰しています。「瑞宝小綬章」は、公務等に長年にわたり従事し、「成績」をあげた者に贈られる勲章。

羽瀨氏は海上自衛隊で長年の間、総合幹部として部隊司令などに従事したことが、受賞の要因になっています。



「新入生歓迎イベント」の光景



平成30年度

「大阪電気通信大学 友電会通常総会・合同懇親会」案内

「平成30年度友電会通常総会・合同懇親会」は、平成30年6月23日(土)午前11時から母校・寝屋川キャンパスのエデュケーションセンター(J号館)で開催されます。

友電会では、「一般社団法人」の法人化を目指しています。「第8号議案 一般社団法人 大阪電気通信大学友電会定款案」がそれで、友電会の安定的な運営、ひいては母校・大阪電気通信大学の発展に寄与できることからです。皆さんのご協力をお願いします。

「記念講演会」は、㊦㊧でも紹介していますように、母校の大石利光理事長・学長が、「学園80周年に向けた取り組み」のテーマで話されることになっています。母校の「将来」が聞ける興味ある内容になっています。

「合同懇親会」は母校教職員のOB会「緑樹会(みどりかい)」、「クラブ同窓会」、「友電会」の3団体が「合同」で開催します。学生時代に教わった恩師はもとより、学生時代にお世話になった職員OB、学生時代にクラブ活動をしてきた会員など、多くの方々が出席されます。

会場では恩師、職員OB、旧友と顔を合わせ、大いに話をしてください。「癒し」の場になります。

ぜひ、この機会に会友お誘いのうえ、家族連れでの出席をお願いします。6月23日(土)に、母校・寝屋川キャンパスでお待ちしています。

■平成30年度友電会通常総会議案

- ・第1号議案 平成29年度事業報告
- ・第2号議案 平成29年度収支決算報告
- ・第3号議案 平成29年度一般会計剰余金処分案
- ・第4号議案 平成30年度事業計画案
- ・第5号議案 平成30年収支予算案
- ・第6号議案 平成30年度役員案
- ・第7号議案 平成30年度評議員案
- ・第8号議案 一般社団法人

大阪電気通信大学友電会定款案

● 講師 大石利光理事長・学長

● 記念講演会

講師

テーマ 「学園80周年に向けた取り組み」

講演の内容は、6ページの大石利光理事長・学長の「あいさつ」を一読されたらお分かりのように、母校・学園の「将来」を含めた、「興味」ある話が聞けそうです。

●開催概要

- ・テーマ 「新たなスタート」
- ・日時 平成30年6月23日(土)11:00～17:00
友電会通常総会 12:30～
受付開始 11:30～
- ・会場 母校・寝屋川キャンパス
エデュケーションセンター(J号館)
- ・合同懇親会 緑樹会、クラブ同窓会、友電会の3団体共催
- ・会費 2,000円
(同伴者、学生、名誉教授、大学教職員および招待者は無料)

■タイムスケジュール

- ・11:30～ 「総会・懇親会」受付開始(J号館1階)
- ・11:00～11:25 クラブ同窓会総会
- ・11:30～11:45 友電会全国支部長会
- ・12:30～13:45 友電会通常総会
- ・13:00～13:45 緑樹会年次報告会
(記念講演会)
- ・14:00～14:45 記念講演会
(合同懇親会)
- ・15:00～17:00 3団体合同懇親会
(緑樹会、クラブ同窓会、友電会共催)
(J号館1階レストラン)
- ・17:00 閉会

会員の動向

平成30年4月1日現在 5万1,381人



期/学科	E	G	H	I	J	N	Z	U	P	F	K	RV	A	L	Y	S	Q	W	T	MD	計	物故	
1 (S.40)	93	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	124	9	
2 (S.41)	193	-	-	-	-	-	-	-	-	88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	281	19	
3 (S.42)	221	-	-	-	-	-	-	-	-	125	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	346	21	
4 (S.43)	125	-	-	-	-	-	-	-	-	138	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	263	10	
5 (S.44)	84	49	49	53	-	-	-	-	-	115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	350	12	
6 (S.45)	138	92	138	71	-	-	-	-	-	161	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	600	28	
7 (S.46)	190	85	136	89	-	-	-	-	-	180	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	680	13	
8 (S.47)	175	101	211	108	-	-	-	-	-	183	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	778	18	
9 (S.48)	216	190	210	196	-	-	-	-	-	219	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,031	18	
10 (S.49)	161	188	181	151	-	-	-	-	-	194	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	875	19	
11 (S.50)	178	178	165	194	-	-	-	-	-	196	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	911	17	
12 (S.51)	172	141	167	180	-	-	-	-	-	189	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	849	23	
13 (S.52)	200	187	209	164	-	-	-	-	-	210	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	970	21	
14 (S.53)	162	161	163	162	-	-	-	-	-	148	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	796	18	
15 (S.54)	160	159	186	201	121	-	-	-	-	170	123	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,120	12	
16 (S.55)	144	132	141	164	140	-	-	-	-	141	143	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,005	16	
17 (S.56)	123	133	144	161	128	-	-	-	-	118	141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	948	23	
18 (S.57)	132	128	139	130	127	-	-	-	-	159	140	-	-	-	-	-	-	-	-	-	955	13	
19 (S.58)	124	130	113	121	110	-	-	-	-	151	134	-	-	-	-	-	-	-	-	-	883	11	
20 (S.59)	110	97	120	118	139	-	-	-	-	123	115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	822	8	
21 (S.60)	120	151	130	123	118	-	-	-	-	131	132	-	-	-	-	-	-	-	-	-	905	11	
22 (S.61)	142	134	131	147	130	-	-	-	-	129	122	-	-	-	-	-	-	-	-	-	935	11	
23 (S.62)	124	133	149	127	130	-	-	-	-	162	141	-	-	-	-	-	-	-	-	-	966	9	
24 (S.63)	96	142	121	116	146	-	-	-	-	136	133	-	-	-	-	-	-	-	-	-	890	4	
25 (H.元)	137	113	126	150	135	-	-	-	-	124	130	-	-	-	-	-	-	-	-	-	915	7	
26 (H.2)	124	107	124	108	113	-	-	-	-	110	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	796	6	
27 (H.3)	102	140	116	138	130	-	-	-	-	128	116	-	-	-	-	-	-	-	-	-	870	5	
28 (H.4)	99	139	150	144	144	-	-	-	-	152	143	-	-	-	-	-	-	-	-	5	976	4	
29 (H.5)	136	133	109	131	126	-	-	-	-	128	138	-	-	-	-	-	-	-	-	30	931	5	
30 (H.6)	125	134	117	143	146	-	-	-	-	133	132	-	-	-	-	-	-	-	-	42	972	1	
31 (H.7)	145	160	139	149	131	-	-	-	-	148	151	-	-	-	-	-	-	-	-	63	1,086	2	
32 (H.8)	162	148	157	156	154	-	-	-	-	139	139	-	-	-	-	-	-	-	-	69	1,124	0	
33 (H.9)	137	136	148	157	153	-	-	-	-	161	150	-	-	-	-	-	-	-	-	76	1,118	6	
34 (H.10)	106	150	123	151	132	-	-	-	-	126	137	-	-	-	-	-	-	-	-	67	992	4	
35 (H.11)	129	120	120	9	132	-	-	-	-	192	127	132	-	-	-	-	-	-	-	60	1,021	1	
36 (H.12)	125	125	117	-	140	-	-	-	-	176	132	119	-	-	-	-	-	-	-	50	984	0	
37 (H.13)	113	142	121	-	126	-	-	-	-	217	139	137	-	-	-	-	-	-	-	80	1,075	0	
38 (H.14)	137	119	116	-	131	-	-	-	-	228	122	131	68	-	-	-	-	-	-	92	1,144	1	
39 (H.15)	99	121	99	-	132	-	-	-	-	199	138	110	112	-	-	-	-	-	-	95	1,105	1	
40 (H.16)	95	105	109	-	116	-	-	-	-	209	111	117	101	-	-	-	189	-	-	95	1,247	0	
41 (H.17)	117	80	120	-	91	-	-	-	-	183	116	74	84	-	95	-	172	-	-	99	1,231	3	
42 (H.18)	119	81	115	-	99	-	-	-	-	201	114	81	113	-	100	-	178	-	-	109	1,310	0	
43 (H.19)	99	80	103	-	102	-	-	-	-	183	118	72	91	-	95	-	157	123	-	118	1,341	0	
44 (H.20)	107	75	86	-	109	-	-	-	-	168	93	81	119	-	100	-	136	106	-	100	1,280	0	
45 (H.21)	96	75	101	-	97	-	-	-	-	165	96	86	71	-	149	-	140	130	80	104	1,390	0	
46 (H.22)	80	74	100	-	90	-	65	-	-	169	69	57	2	-	120	33	-	124	127	60	101	1,271	1
47 (H.23)	82	44	87	-	89	20	42	-	-	146	66	29	1	-	118	45	-	91	130	80	133	1,203	1
48 (H.24)	67	45	91	-	97	27	39	-	-	117	57	5	-	-	87	23	64	91	117	63	137	1,127	0
49 (H.25)	68	43	68	-	75	30	50	-	-	121	70	-	-	24	85	30	67	107	122	59	101	1,120	0
50 (H.26)	75	64	56	-	81	43	63	-	-	135	69	-	-	30	60	28	63	85	112	78	104	1,146	0
51 (H.27)	80	1	68	-	66	51	10	70	103	76	-	-	53	73	26	60	84	97	77	74	1,069	0	
52 (H.28)	65	1	69	-	65	54	3	76	112	53	-	-	39	70	22	60	79	97	76	64	1,005	0	
53 (H.29)	72	2	60	-	74	60	-	87	105	61	-	-	49	81	33	66	77	107	73	67	1,074	0	
54 (H.30)	86	-	81	-	82	51	-	97	119	74	-	-	72	77	42	52	87	118	77	60	1,175	0	
合計	6,767	5,468	6,199	4,212	4,647	336	272	330	3,248	6,847	3,901	762	267	1,310	282	432	1,797	1,386	723	2,195	51,381	412	

● 工学部

- E 電子工学科、電気電子工学科
- G 電子物性工学科、電子材料工学科、応用化学科
- H 電子機械工学科
- I 経営工学科
- J 精密工学科、知能機械工学科、機械工学科
- N 基礎理工学科
- Z 環境技術学科
- U 環境科学科

● 情報通信工学部

- P 情報工学科
- F 通信工学科
- K 応用電子工学科、光システム工学科、光・エレクトロニクス学科

● 工学部2部

- R 電子工学科
- V 機械工学科

● 金融経済学部

- A アセット・マネジメント学科

● 医療福祉工学部

- L 医療福祉工学科

Y 理学療法学科

S 健康スポーツ科学科

● 総合情報学部

- Q メディア情報文化学科、デジタルアート・アニメーション学科
- W デジタルゲーム学科
- T メディアコンピュータシステム学科

● 大学院

- M 前期課程
- D 後期課程

※総合計は、学部卒業生で大学院修了生は重複します。

第1号議案
平成29年度事業報告

- ・平成29年度は、会長福田 武体制の2年目の年度で、「同窓の力を結集して親睦を図り、母校に貢献する」を基本方針に推進し、会員相互の親睦はもとより母校と会員の絆を深める活動を行った。
- ・同窓会組織の基盤となる支部活性化を進め、昨年度の大阪支部に引き続き、12月には「東京支部」が発足した。
- ・これまでの教育部会を発展させた「教育懇話会」は、平成29年10月に昨年度に引き続き「学習指導力の向上一製作体験とOBとの懇談会一」をテーマとした教職生を中心としたテスター製作実習を開催した。
- ・寝屋川周辺の小中学生を対象にした友電会主催のロボット教室を年10回開催し、母校のPR活動や地域社会への貢献活動を行った。
- ・友電会主催の第40回卒研研究室対抗ソフトボール大会を9月に開催し、26研究室約360名の学生が参加した。
- ・昨年度に引き続き、四條畷キャンパス総合情報学部の卒業制作展である「なわてん」に役員6名が参加し、友電会会長賞の選考を行い、優秀作品3組を表彰した。
- ・機関誌の友電会誌は大学のPRへの協力と、友電会活動のPRに欠かせない媒体として活用されているが、本年も「総会通知号」(5月発行)と「新卒生・新入生特集号」(3月発行)の年2回刊行した。
- ・ホームページを活発に運用し、適宜情報発信を行った。
- ・法人化については、法人化委員会に選出された9名の委員が中心となって、一般社団法人の定款案の策定を行った。

■平成29年度事業計画報告 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

■第5条第1項 研究発表会、講習会、座談・懇談会などを開催した

●研究発表会

- ・大学祭時に「エレクトロニクス展」を後援し、ロボット講習会などを支援した。

●講演会・座談会等

- ・企業家同友会と教育懇話会を開催して懇談を行った。
- ・総会で総合情報学部長・魚井宏高教授の記念講演会を開催した。

◆(平成30年4月～6月)・上記事業を機会あるごとに実施した。

■第5条第2項 機関誌、その他の刊行

- ・会誌「ゆうでんかい」127号を5月に、128号を3月に発刊した。

◆(平成30年4月～6月)・会誌(総会号)を5月に発刊した。

■第5条第3項 大阪電気通信大学発展のための事業

●母校発展のための事業

- ・法人理事と法人評議員を送り、母校の経営に参画、発展に協力した。
- ・卒業生の謝恩パーティーに協力・援助(2月、3月)した。
- ・「後援会・友電会貸与奨学金制度」に出資し拡充、「在学生短期貸付制度」を継続した。
- ・「第40回卒研室対抗ソフトボール大会」を9月に開催し、26研究室約360名が参加した。

●クラブなど学生団体の活性化と発展のための事業を推進

- ・クラブ活動助成金を学生課を通して渡し、クラブ活動の活性化と発展に寄与した。

●母校の環境整備の一環として緑化推進

- ・その他、母校発展のための事業を推進した。

◆(平成30年4月～6月)・上記事業の継続と充実を図った。

■第5条第4項 会員相互の親睦と連絡

●「友電会ネットワーク」

- ・会員諸氏への情報提供の一環としてホームページを充実させた。特に友電会はもとより、母校の情報を掲載した。

●親睦と連絡関係の事業

- ・平成29年度総会を6月に開催し、同時に懇親会を「緑樹会」、「クラブ同窓会」と共催して、親睦を深めた。
- ・母校・学園、その他関連団体等と情報交換を通じ相互理解を図った。
- ・各支部に助成、現支部の活性化とともに支部の新設推進を図った。
- ・大学祭時に「友電会サロン」を設置し、来学した会員の休憩・懇親の場を提供するとともに「友電会サロンパーティー」を開催し会員相互の親睦を図り、大学主催のホームカミングデー行事にも協力して参加した。

◆(平成30年4月～6月)機会あるごとに会員相互の親睦と連絡を密にした。

■第5条第5項 その他、目的を達成するための事業

●会議

- ・平成29年度総会を6月に開催した。
- ・理事会定例6回、評議員会定例3回及び臨時の評議委員会を開催し、会の運営、事業・活動を推進した。
- ・三役会、各部会、各委員会を機会あるごとに開催し、会の運営と事業・活動を行った。
- ・全国支部長会を開催し、支部活性化と新設を推進した。

◆(平成30年4月～6月)機会あるごとに会員相互の親睦と連絡を密にした。

第2号議案 平成29年度収支決算報告

■平成29年度収支決算報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)
(単位：円)

◆収入の部

科 目	平成29年度 予算(A)	決 算(B)	差額(B - A)
運用財産収入(預金利息)	50,000	17,864	-32,136
会費収入	23,000,000	23,800,000	800,000
寄付・広告収入	10,000	62,000	52,000
総会収入(懇親会)	200,000	286,000	86,000
会誌購読収入	30,000	118,000	88,000
雑収入	0	9,720	9,720
前年度からの繰越金	15,325,928	15,325,928	0
合 計	38,615,928	39,619,512	1,003,584

◆支出の部

科 目	平成29年度 予算(A)	決 算(B)	差額(A - B)
事務局費	11,800,000	11,043,349	756,651
給料諸手当(弁護士、会計士等)	6,000,000	3,829,125	2,170,875
事務費	1,500,000	1,324,419	175,581
諸雑費	50,000	35,185	14,815
会議費・交通費	3,150,000	4,180,942	-1,030,942
三役・法人評議員活動費	500,000	900,818	-400,818
部会・委員会活動費	600,000	772,860	-172,860
事業費	12,830,000	11,095,144	1,734,856
総会費	1,500,000	1,089,609	410,391
名簿製作費(台帳)	400,000	270,972	129,028
機関誌製作費	4,000,000	3,543,813	456,187
学史編纂調査費	180,000	101,600	78,400
通信費	2,900,000	2,759,080	140,920
厚生費	540,000	323,873	216,127
(大学事業・関連事業)	270,000	238,800	31,200
(慶弔費)	270,000	85,073	184,927
支部運営助成費	1,860,000	1,704,407	155,593
(支部長会議費)	30,000	60,000	-30,000
(支部開拓費)	100,000	84,407	15,593
(支部費)	1,630,000	1,530,000	100,000
(支部イベント費)	100,000	30,000	70,000
クラブ活動助成金※	400,000	500,000	-100,000
教育懇話会費	200,000	106,800	93,200
企業家同友会	200,000	8,610	191,390
ロボット教室活動費	300,000	300,000	0
HP関係費	350,000	386,380	-36,380
教育・研究助成費	2,400,000	3,175,766	-775,766
母校発展促進費	0	0	0
教育・研究促進費	400,000	409,291	-9,291
学内講演(研究)費	200,000	29,800	170,200
準会員助成費	1,800,000	2,736,675	-936,675
記念事業積立金	8,000,000	10,000,000	-2,000,000
予備費	3,585,928	0	3,585,928
次年度繰越金	0	4,305,253	-4,305,253
合 計	38,615,928	39,619,512	-1,003,584

※ クラブ活動助成金 学生のクラブ活動支援として学生課を通じて助成

- 平成29年度の会費収入は、予定より80万円多い2,380万円であり、前年度からの繰越金は約1,532万円であった。
- 常用職員採用のために300万円を給与諸手当に予算化し、3か月間の仮採用を1名に行ったが、採用までには至らず、本予算はほとんど執行されなかった。
- 会議費・交通費では、例年よりも多い評議員会出席者があり、臨時評議員会を含めて103万円超過した。
- 三役・法人評議員活動費や部会・委員会活動費でも、大学イベント等に活発な事業・広報活動等により、予算よりも57万円超過した。
- 友電会誌は総会号(127号)と3月号(128号)の年2回を発刊し、機関誌製作費は354万円を支出した。
- これまで各学科主催の卒業パーティーに対して友電会・後援会から学生一人にそれぞれ千円を助成してきたが、今年度からは卒業生への支援は主に友電会が行うことで後援会と役割分担を明確化し、学生一人に2千円を助成した。また、支部での学生への教育研究活動支援等もあり、準会員助成費は予算よりも92万円超過した。
- 今後の友電会創立60周年記念事業等のため、予算よりも200万円多い、1,000万円を積み立てた。
- 上記のとおり、会議・交通費、準会員助成費で予算を超過したが、それ以外はほぼ計画通りに予算執行された。次年度への繰越金は、約431万円となる。

第3号議案

平成29年度 一般会計剰余金処分案

平成29年度の一般会計の剰余金は4,305,253円となった。剰余金は「平成30年度への繰越金」として、平成30年度の事業・活動資金とする。

特別会計

■平成29年度海外教育研修 特別会計収支決算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)
(単位：円)

◆収入の部

前年度からの繰越金	8,895,852
利息・配当金	928
合 計	8,896,780

◆支出の部

事務費	0
研修同行費	0
会議費	0
次年度繰越金	8,896,780
合 計	8,896,780

■平成29年度英会話研修 特別会計収支決算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)
(単位：円)

◆収入の部

前年度からの繰越金	2,062,650
研修申し込み手数料	0
合 計	2,062,650

◆支出の部

事務費等	0
次年度繰越金	2,062,650
合 計	2,062,650

■平成29年度 海外教育研修・英会話研修 特別会計貸借対照表

(平成30年3月31日 単位：円)

◆資産の部

現金	0
普通預金	0
定期預金	10,959,430
合 計	10,959,430

◆負債・基本財産の部

海外教育研修積立金	8,896,780
英会話研修積立金	2,062,650
合 計	10,959,430

■平成29年度貸借対照表総括

(平成30年3月31日 単位：円)

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目		勘定科目	
現金	658,426	法人化準備預り金	5,670,000
普通預金	158,444,056	預り金	1,320,000
定期預金	210,959,430	(負債計)	6,990,000
郵便貯金	295,755	基本金	125,067,984
在学生短期奨学金	2,000,000	法人化積立金	285,535,000
在学生奨学基金	70,500,000	海外教育研修積立金	8,896,780
		英会話研修積立金	2,062,650
		記念事業積立金	10,000,000
		剰余金	4,305,253
		(純資産計)	435,867,667
合 計	442,857,667	合 計	442,857,667

■平成29年度一般会計貸借対照表

(平成30年3月31日 単位：円)

資産の部		負債・純資産の部	
勘定科目		勘定科目	
現金	658,426	法人化準備預り金	5,670,000
普通預金	158,444,056	預り金	1,320,000
定期預金	200,000,000	(負債計)	6,990,000
郵便貯金	295,755	基本金	125,067,984
在学生短期奨学金	2,000,000	法人化積立金	285,535,000
在学生奨学基金	70,500,000	記念事業積立金	10,000,000
		剰余金	4,305,253
		(純資産計)	424,908,237
合 計	431,898,237	合 計	431,898,237

■平成29年度一般会計財産目録

(平成30年3月31日 単位：円)

資産の部		負債の部	
1. 現金	658,426	1. 法人化準備預り金	5,670,000
事務局手元有り高		2. 預り金	1,320,000
2. 郵便貯金	295,755		
寝屋川郵便局			
3. 普通預金	158,444,056		
三井住友銀行/寝屋川	(61,112,511)		
京都信用金庫/寝屋川	(57,133,464)		
三菱東京UFJ銀行/寝屋川	(40,198,081)		
4. 定期預金	200,000,000		
三井住友銀行/寝屋川	(190,000,000)		
京都信用金庫/寝屋川	(10,000,000)		
5. 在学生短期奨学金	2,000,000		
大学学生課に預け入れ			
6. 在学生奨学基金	70,500,000		
奨学金委員会に預け入れ			
資産合計	431,898,237	負債合計	6,990,000
純資産			424,908,237

監査報告

平成30年4月17日

平成29年度事業報告書、平成29年度収支決算書および関係書類を監査した結果、適正に執行されていることを認めます。

監事 池田 清 ㊟
吉川 博史 ㊟
尼丁 正 寄 ㊟

第4号議案 平成30年度事業計画案

- ・平成30年度は、役員改選の年であり、会長のもと「同窓の力を結集して親睦を図り、母校に貢献をする」を基本方針とする。
- ・会員相互の親睦はもとより、母校と会員の絆を深めながら組織の改編、規則等の整備を行い支援協力体制を推進する。
- ・卒業生の企業家による「友電会企業家同友会」による産学連携・企業間の交流活動や「教育懇話会」を活発化して、今後の入試と学生の就職支援に繋げていき、母校に寄与できる活動として推進する。
- ・就職支援活動を積極的に進めていくなかで、母校の正規授業である「キャリア入門」、「キャリア設計」などへのOB講師の派遣等を充実し、母校と在学生の求めに対応した支援協力体制を維持していく。
- ・機関誌の友電会誌は大学のPRへの協力と、友電会活動のPRに欠かせない媒体として活用されているが、本年も「総会通知号」(5月発行)と「新卒生・新入生特集号」(3月発行)の年2回刊行体制とする。
- ・ホームページの内容を充実し、友電会はもとより大学の情報を掲載していく。
- ・本年度は、一般社団法人の定款の公証人による認証、法人設立登記を行い、法人化への移行を目指す。
- ・大学60周年事業に併せ、周年事業委員会を設置し、事業の協力体制を図る。

■平成30年度事業計画案(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

■第5条第1項 研究発表会、講習会、座談・懇談会などの開催

●研究発表会

- ・大学祭時に「エレクトロニクス展」等の後援、機会あるごとに研究発表会等に支援する。
- ・地域貢献事業のロボット教室を活発化する。

●講演会・座談会等

- ・機会あるごとに座談会を開催する。
- ・記念講演会をはじめ、機会あるごとに講演会を開催する。
- ・母校の正規授業の「キャリア入門」「キャリア設計」へのOB講師の派遣。OB講演者の登録を制度化し、母校の求めに対応していく。
- ・以上の模様は、友電会誌、ホームページに逐次広報する。

◆(平成31年4月～6月)・上記事業を機会あるごとに実施

■第5条第2項 機関誌、その他の刊行

- ・会誌「ゆうでんかい」を発刊する。

◆(平成31年4月～6月)・会誌(総会号)を5月に発刊

■第5条第3項 大阪電気通信大学発展のための事業

●母校発展のための事業

- ・法人理事と法人評議員を送り、母校の経営に参画、発展に協力する。
- ・卒業生の謝恩パーティーに協力・援助(2月、3月)。
- ・「第41回卒研室対抗ソフトボール大会」を9月ごろに開催する。

●クラブなど学生団体の活性化と発展のための事業を推進

- ・クラブ活動助成金を渡し、クラブ活動の活性化と発展に寄与する。

●母校の環境整備の一環として緑化推進

- ・その他、母校発展のための事業を推進する。

◆(平成31年4月～6月)・上記事業の継続と充実

■第5条第4項 会員相互の親睦と連絡

●「友電会ネットワーク」

- ・会員諸氏への情報提供の一環としてホームページを充実する。特に友電会はもとより母校の情報も掲載していく。

●親睦と連絡関係の事業

- ・平成30年度総会を6月に開催し、同時に懇親会を「緑樹会」、「クラブ同窓会」と共催して、親睦を深める。
- ・母校・学園、その他関連団体等と情報交換を通じ相互理解を図る。
- ・各支部に助成、現支部の活性化とともに支部の新設推進を図る。
- ・大学祭時に「友電会サロン」を設置し、来学した会員の休憩・懇親の場を提供するとともに「友電会サロンパーティー」を開催し会員相互の親睦を図る。大学主催のホームカミングデー行事に協力して参加する。

◆(平成31年4月～6月)機会あるごとに会員相互の親睦と連絡を密にする。

■第5条第5項 その他、目的を達成するための事業

●会議

- ・平成30年度総会を6月に開催する。
- ・理事会定例6回、評議員会定例3回開催し会の運営、事業・活動を推進する。
- ・三役会、各部会、各委員会を機会あるごとに開催し、会の運営と事業・活動を行う。
- ・全国支部長会を開催し、支部活性化と新設を推進する。

●その他

- ・支部との情報交換、母校など関係団体等との交流を通じて、会活動の充実と円滑な運営を推進する。

◆(平成31年4月～6月)上記会議等を機会あるごとに開催し会の運営を図る。

第5号議案

平成30年度収支予算案

- ・平成30年度の入学者は約1,300人の入学者が予想されるため、会費収入は前年度よりも220万円多い2,600万円とする。
- ・海外教育研修特別会計及び英会話研修特別会計を平成30年4月1日付で廃止し、資金残高を一般会計へ繰り入れる。
- ・給付型奨学金特別会計を平成30年度当初に設置する。
- ・給付奨学金特別会計より、奨学生5名に対して1人36万円を支給し、計180万円を支出する。
- ・給与諸手当には、事務体制・広報活動の強化、法人化に対応できる常用職員(事務局次長)を1名雇用するための人件費120万円を計上し420万円とする。
- ・総会費は、前年度実績に基づき120万円とし、懇親会費を2千円の有料化とする。
- ・支部運営助成費は、13支部の活動費等を含む169万円とする。
- ・支部主催の「ものづくり教室」、「講演会」等への支援のため、1回あたり1万円の助成として、10万円の支部イベント費を継続する。
- ・教育懇話会及び企業家同友会の活動費に、それぞれ15万円と10万円を支出する。
- ・地域社会への貢献活動の一環で在学学生を巻き込んだ活動として6年の実績がある「友電会主催ロボット教室」への支援活動費30万円を支出する。
- ・準会員助成費は、卒研対抗ソフトボール大会や卒業パーティー(1人2千円)助成として、前年度実績並みの260万円とする。

■平成30年度給付奨学金特別会計収支予算

◆収入の部 (単位：円)

一般会計から繰入金	10,959,430
合計	10,959,430

◆支出の部

給付奨学金	1,800,000
予備費	9,159,430
合計	10,959,430

■平成30年度収支予算案

◆収入の部

(単位：円)

科目	平成29年度 予算	平成30年度 予算	平成31年 4～6月
運用財産収入(預金利息)	50,000	15,000	10,000
会費収入	23,000,000	26,000,000	26,000,000
寄付・広告収入	10,000	50,000	0
総会収入(懇親会)	200,000	250,000	100,000
会誌講読収入	30,000	100,000	10,000
雑収入	0	0	0
前年度からの繰越金	15,325,928	4,305,253	0
海外研修・英会話特別会計からの繰入金	0	10,959,430	0
合計	38,615,928	41,679,683	26,120,000

◆支出の部

科目	平成29年度 予算	平成30年度 予算	平成31年 4～6月
事務局費	11,800,000	10,850,000	2,710,000
給料諸手当(弁護士、会計士等)	6,000,000	4,200,000	1,000,000
事務費	1,500,000	1,500,000	500,000
諸雑費	50,000	50,000	10,000
会議費・交通費	3,150,000	4,000,000	1,000,000
三役・法人評議員活動費	500,000	500,000	100,000
部会・委員会活動費	600,000	600,000	100,000
事業費	12,830,000	12,090,000	6,510,000
総会費	1,500,000	1,200,000	1,200,000
名簿製作費(台帳)	400,000	300,000	100,000
機関誌製作費	4,000,000	4,000,000	2,500,000
学史編纂調査費	180,000	0	0
通信費	2,900,000	3,200,000	2,000,000
厚生費	540,000	350,000	300,000
(大学事業・関連事業)	270,000	250,000	150,000
(慶弔費)	270,000	100,000	150,000
支部運営助成費	1,860,000	1,690,000	160,000
(支部長会議費)	30,000	60,000	50,000
(支部開拓費)	100,000	100,000	50,000
(支部費)	1,630,000	1,430,000	100,000
(支部イベント費)	100,000	100,000	10,000
クラブ活動助成金※	400,000	400,000	0
教育懇話会費	200,000	150,000	100,000
企業家同友会	200,000	100,000	50,000
ロボット教室活動費	300,000	300,000	50,000
HP関係費	350,000	400,000	100,000
教育・研究助成費	2,400,000	3,100,000	200,000
教育・研究促進費	400,000	400,000	50,000
学内講演(研究)費	200,000	100,000	50,000
準会員助成費	1,800,000	2,600,000	100,000
記念事業積立金	8,000,000	0	0
予備費	3,585,928	4,680,253	0
給付奨学金特別会計に繰出金	0	10,959,430	0
合計	38,615,928	41,679,683	9,420,000

※クラブ活動助成金 学生のクラブ活動支援として学生課を通じて助成。

第6号議案 平成30年度友電会役員案

●理事：21名

福田 武 (E02) 現
 小松周治 (F06) 現 九州支部長
 段安義彦 (F06) 現 京都支部長
 志村哲樹 (F07) 現 東海総支部長・法人評議員
 廣瀬一夫 (F07) 現
 水谷元也 (E08) 現
 深野隆司 (I09) 新任 関東総支部長
 北地憲治 (E10) 新任 関東総支部副支部長
 岡本清孝 (H11) 現 法人理事・法人評議員
 内野正道 (F12) 現
 小林守正 (H12) 現 兵庫支部副支部長
 山崎敏之 (F14) 現 奈良支部副支部長・法人評議員

堀江健二郎 (H14) 新任
 細川雅巳 (I14) 新任
 山下友彦 (J15) 新任
 坂手博行 (J21) 新任
 藤田英治 (E22) 現
 石橋明美 (I25) 新任
 中田亮生 (D32) 現
 柴垣佳明 (D33) 現
 澤田正雄 (P39) 新任

●顧問：8名

臼井 宏 (E01)
 羽瀨完俊 (E01)
 安 弘 (F01)
 池本善一 (E02)
 猿渡 洋 (F02)
 宮本公明 (F03)
 中西義一 (E04)
 中山 修 (F06)

●監事：3名

池田 清 (I05) 現
 吉川博史 (I05) 現
 野田鐘一 (F07) 新任

●法人評議員：2名

山崎貞彦 (E10)
 神山清明 (H15)

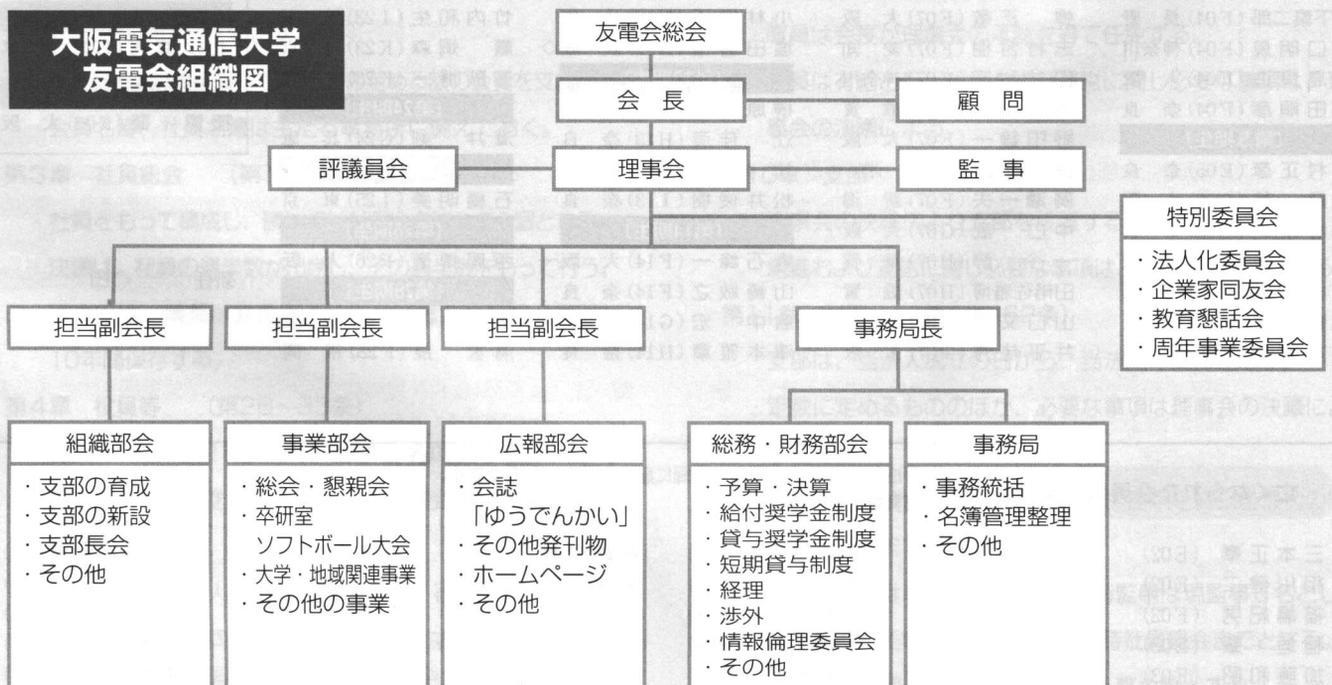
■友電会支部と支部長

支部名 支部長・卒業学科・期

関東総支部	深野隆司 (I09)	東海総支部	志村哲樹 (F07)	奈良支部	松井俊樹 (I13)
北関東支部	山口文男 (H07)	静岡支部	久保田陽一 (F05)	兵庫支部	幸村常一 (H16)
茨城支部	塩田善裕 (H12)	石川支部	辻 久也 (I13)	九州支部	小松周治 (F06)
千葉支部	神山清明 (H15)	びわこ支部	澤居比佐夫 (H17)	北米支部	高岸英人 (F17)
東京支部	観野福太郎 (E04)	京都支部	段安義彦 (F06)		
神奈川支部	田谷利明 (F07)	大阪支部	平岡 臨 (I07)		

各支部の情報は友電会ホームページで <http://www.yudenkai.org/>

大阪電気通信大学 友電会組織図



第7号議案 平成30年度評議員案

友電会評議員は、194名です。

(敬称略)

〔第1期生〕

青木政治(E01)埼玉
大角武紘(E01)大阪
大塚敏兼(E01)茨城
西原正明(E01)香川
羽瀧完俊(E01)神奈川
藤崎崎久(E01)大阪
宮崎 孝(E01)神奈川
臼井 宏(E01)兵庫
安 弘(F01)京都
國次 茂(F01)山口
野村康明(F01)愛知

〔第2期生〕

櫻木親房(E02)兵庫
池本善一(E02)兵庫
小西 巖(E02)兵庫
谷口一雄(E02)大阪
福田 武(E02)長崎
藤野雅也(E02)滋賀
猿渡 洋(F02)埼玉
本田頌次(F02)兵庫
吉田栄治(F02)茨城

〔第3期生〕

竹本信之(E03)大阪
原 一夫(E03)大阪
野田哲治(F03)愛知
菅野和夫(F03)岩手
佐藤 功(F03)長野
辻 喜代克(F03)大阪
廣沢 洋(F03)滋賀
三橋長夫(F03)滋賀
宮本公明(F03)米

〔第4期生〕

辻 勝久(E04)三重
北森弘樹(E04)奈良
中西義一(E04)滋賀
観野福太郎(E04)東京
藤原公彦(E04)京都
大下真二郎(F04)長野
川口明良(F04)神奈川
中島良造(F04)大阪
藤田順彦(F04)奈良

〔第5期生〕

木村正彦(E05)奈良
中尾 稔(E05)大阪
中野正三(E05)東京
守上芳士(E05)神奈川
岩本吉男(F05)埼玉
大野一廣(F05)大阪
尾方康祐(F05)千葉

久保田陽一(F05)静岡
山口朝弘(F05)滋賀
山本 弘(F05)大阪
御崎正吾(G05)大阪
木村幸治(G05)大阪
香西順治(G05)大阪
坂上晃一(G05)茨城
高岡 亨(G05)京都
玉置 寛(G05)奈良
星野 悟(G05)大阪
堀内定夫(G05)奈良
堀井 浩(G05)千葉
藪野美律(G05)兵庫
池田 清(I05)京都
吉川博史(I05)大阪

〔第6期生〕

奥村義美(E06)大阪
兵藤敏夫(E06)京都
吉岡 睦(E06)奈良
段安義彦(F06)京都
吉田祐三(F06)奈良
小松周治(F06)福岡
田中稲夫(F06)滋賀
中山 修(F06)大阪
湯場崎直養(F06)京都
大下正二郎(G06)大阪
森川佳宥(G06)京都
北川 昇(H06)大阪
大川恒一(H06)大阪
阪本和夫(H06)奈良
松伏正隆(H06)滋賀
横道一雄(H06)兵庫
前田 實(I06)兵庫
国松敬三(I06)大阪
藤本 明(I06)兵庫

〔第7期生〕

稲原廣法(E07)兵庫
畝本正一(E07)東京
蝉 正敏(F07)大阪
志村哲樹(F07)愛知
田谷利明(F07)神奈川
寺田 豊(F07)滋賀
野田鐘一(F07)大阪
長谷川 洋(F07)米
廣瀬一夫(F07)新潟
中口 武(G07)大阪
一谷 醇(H07)滋賀
田甫佐雅博(H07)滋賀
山口文男(H07)群馬
井平佳秀(I07)大阪

平岡 臨(I07)大阪

〔第8期生〕

相羽政信(E08)大阪
石川智之(E08)大阪
水谷元也(E08)大阪
尼丁正寄(F08)大阪
幸田秀雄(G08)大阪
鎌谷英一(H08)大阪
中出知伸(I08)大阪
宇野茂嗣(I08)滋賀
船越 亨(I08)大阪
芳山和久(I08)香川◇

〔第9期生〕

木村功一(F09)茨城
宮崎一幸(F09)大阪
栗栖敏朗(F09)鹿児島
大音博司(G09)大阪
岡川正寛(H09)鳥取
下野哲生(H09)京都
森 和明(H09)兵庫
工藤英男(I09)大阪
深野隆司(I09)埼玉
柴野 育夫(I09)静岡

〔第10期生〕

井野川 一(E10)大阪
北地憲治(E10)東京
山崎貞彦(E10)兵庫
山崎洋一郎(H10)兵庫
佐藤涉一(I10)千葉

〔第11期生〕

松田 啓(F11)石川
鬼原治紀(G11)大阪
小舟定行(G11)三重
岡本清孝(H11)大阪

〔第12期生〕

内野正道(F12)大阪
廣谷 明(F12)滋賀
恩智博司(H12)埼玉
小林守正(H12)兵庫
塩田善裕(H12)茨城◇

〔第13期生〕

榊原秀之(H13)愛知
辻 佳彦(H13)奈良
辻 久也(I13)石川
松井俊樹(I13)奈良

〔第14期生〕

森石峰一(F14)大阪
山崎敏之(F14)奈良
倉中 宏(G14)奈良
津本雅章(H14)奈良

堀江健二郎(H14)滋賀
細川雅巳(I14)奈良
田中二郎(I14)兵庫

〔第15期生〕

森蔭剛久(E15)大阪
藤井耕一(F15)大阪
宮條研次(F15)愛知
皆川重裕(G15)滋賀
神山清明(H15)千葉
冲 洋一(I15)神奈川
山下友彦(J15)愛知

〔第16期生〕

渡辺員行(E16)大阪
幸村常一(H16)兵庫
島田慎太郎(H16)栃木
菅 勝彦(K16)大阪

〔第17期生〕

國友志保(F17)大阪
高岸英人(F17)米
澤居比佐夫(H17)滋賀
元花 修(H17)兵庫

〔第18期生〕

田中庸介(E18)京都
生駒京子(I18)大阪

〔第19期生〕

竹田治英(F19)埼玉

〔第20期生〕

奥田 裕(H20)京都
中川雅弘(H20)大阪
中前浩也(H20)奈良

〔第21期生〕

杉田吉広(G21)神奈川
坂本 充(H21)千葉
坂手宏行(J21)埼玉

〔第22期生〕

藤田英治(E22)愛知

〔第23期生〕

熊谷寿倫(F23)京都
竹内和生(I23)埼玉
蕭 炯森(K23)東京
三砂博一(K23)大阪

〔第24期生〕

澤井 劍(G24)兵庫

〔第25期生〕

石橋明美(I25)東京

〔第26期生〕

西尾博道(F26)大阪

〔第28期生〕

早野秀樹(E28)大阪
清水 良(F28)福岡

〔第29期生〕

伏本和人(I29)大阪

〔第30期生〕

大野 守(M30)大阪

〔第31期生〕

新川拓也(M31)大阪

〔第32期生〕

中田亮生(D32)大阪
櫻木嘉典(E32)大阪

〔第33期生〕

柴垣佳明(D33)大阪

〔第35期生〕

山村友律(J35)大阪

〔第36期生〕

金野洋明(M36)大阪
長谷川慎二(G36)大阪
古本賢二(K36)静岡

〔第38期生〕

阿南景子(D38)大阪

〔第39期生〕

澤田正雄(P39)大阪

〔第40期生〕

三上哲夫(M40)奈良

〔第41期生〕

西川達也(M41)滋賀
越野八重美(L41)大阪

〔第44期生〕

村上豊裕(G44)大阪
岡崎浩也(L44)大阪◇

〔第45期生〕

竹中浩之(F45)和歌山

〔第48期生〕

中島拓哉(E48)大阪

〔第49期生〕

辻 琢磨(D49)和歌山

〔第50期生〕

嶋村拓都(M50)大阪

・退任

上杉靖男(E02)兵庫

・死亡退任

稲垣 肇(E03)大阪

新任 ◇印

亡くなられた会員の方々です

平成29年度中に友電会事務局に届け出のあった方々です。
ご冥福をお祈りいたします。

- | | | | | | |
|------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| 三本正奉 (E02) | 中村勝彦 (E03) | 古瀬政信 (H06) | 岩崎公輔 (H10) | 福西与志孝 (E18) | 嘉祥寺 巧 (K22) |
| 相川健二 (E02) | 中島敏一 (E04) | 高宮 晃 (H06) | 宇津秀夫 (H10) | 藤尾 勝 (E19) | 三宅純司 (I25) |
| 福嶋紀男 (F02) | 田代晃一 (F05) | 福本裕文 (E08) | 寺浦 茂 (E12) | 藤野 明 (G20) | 喜多史彦 (J25) |
| 稲垣 肇 (E03) | 増田健二 (F05) | 三谷幸一郎 (H08) | 村上恒文 (E16) | 福岡 淳 (I20) | 松岡利行 (I27) |
| 加藤和昭 (E03) | 松本嘉彦 (I05) | 千田博明 (H09) | 松山忠之 (I17) | 片山 淳 (H21) | 糀本浩規 (Z46) |

法人化への経緯と定款案の要旨

1 はじめに

<法人化の経緯>

昭和51年 法人化推進の決議

昭和52年 法人化活動方針が承認

昭和58年 法人化資金計画の決議、法人化基金の徴収開始
(平成22年度入学者まで27年間継続)

平成20年 法人法の改正

平成26年 法人化推進を再決議、法人化委員会を設置

平成29年 法人化委員会の再編成、定款(案)の作成

平成30年 総会承認を得て、法人登記予定

2 定款案の要旨(法人法に基づく書式)

第1章 総則 (第1～6条)

- ・名称を「一般社団法人大阪電気通信大学友電会」とする。
- ・所在地を大阪電気通信大学内におく。
- ・目的、事業は現行どおり。ただし、事業は非営利型の法人として行う。
- ・公告方法は電子広告による。
- ・機関として理事会および監事をおく。

第2章 会員および社員 (第7～16条)

- ・会員は現行どおり。ただし入会金は削除。
- ・概ね正会員500人の中から1人の割合で選出される代議員をもって、法人法に定める社員とする。
- ・社員は正会員の中から選出し、理事会の承認後会長が社員総会で報告する。
- ・社員の任期は、2年とする。
- ・正会員および準会員は社員総会の定める額の会費を支払う。
- ・会員名簿、社員名簿は主たる事務所に備えておく。

第3章 社員総会 (第17～25条)

- ・社員をもって構成し、議決権は社員1名につき1個とする。
- ・決議は、社員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
- ・議事録は、議長、会長および出席社員2名が記名押印し、10年間保存する。

第4章 役員等 (第26～33条)

- ・理事11名以上21名以内、監事2名以上3名以内とし、理事のうち1名を会長、3名以内を副会長、1名を事務局長とする。
- ・会長をもって法人法上の代表理事とする。副会長および事務局長をもって同じく業務執行理事とする。
- ・理事および監事は、社員総会の決議により社員から選任、

会長、副会長および事務局長は、理事会の決議により理事から選定する。

・理事および監事は、無報酬とし、職務執行に要する費用を支払う。

・会長が顧問をおき、会長の諮問に応え意見を述べる。

第5章 理事会 (第34～42条)

・理事会は、理事をもって構成し、監事は理事会に出席し、意見を述べる。

・決議は理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

・議事録は、代表理事および監事が記名押印し、10年間保存する。

第6章 資産および会計 (第43～46条)

・事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。

・事業計画および収支予算は、毎事業年度の開始の日の前日までに会長が作成し、理事会の承認を受け、社員総会に提出し、承認を受ける。

・事業報告および収支決算(貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)および財産目録)は、毎事業年度終了後、会長が作成し、監事の監査後理事会の承認を受け、社員総会に提出し承認を受ける。

・当法人は余剰金の分配を行わない。

第7章 解散および清算 (第47～48条)

・解散による清算の残余財産は、大阪電気通信大学に贈与する。

第8章 委員会および部会 (第49～50条)

・理事会の決議により委員会および部会を設置する。

・委員および部員は理事会が選任し、運営に関する事項は理事会の決議による。

第9章 事務局 (第51条)

・職員は会長が理事会の承認を得て任免する。

・職員は有給とし、組織および運営に関し必要な事項は、理事会の決議による。

第10章 支部 (第52条)

・理事会の決議により支部を設置する。

・組織および運営に関し必要な事項は、理事会の決議による。

第11章 附則 (第53～62条)

・支部は、当法人成立の日から、当法人の支部となる。

・定款に定めるもののほか、必要な事項は理事会の決議により定める。

・設立時社員は法人化委員9名とし、任期を設立後最初の定時社員総会までとする。

・設立時理事は現理事21名、設立時監事は現監事3名とし、設立理事の任期は設立後最初の定時社員総会までとする。

・定款作成代理人は、司法書士 井上真太郎とする。

第8号議案 一般社団法人 大阪電気通信大学友電会定款案

第1章 総 則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人大阪電気通信大学友電会と称する。

(主たる事務所等の所在地)

第2条 当法人は、主たる事務所を大阪府寝屋川市初町18番8号大阪電気通信大学内におく。

(目的)

第3条 当法人は、会員相互の親睦と研修を図るとともに、学校法人大阪電気通信大学と緊密に連携を保持し、その発展に協力して、教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 当法人は、前条の目的を達成するため、非営利型の法人として次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦に関する事業
- (2) 研究発表会、講習会、座談会等の開催に関する事業
- (3) 機関誌等の広報に関する事業
- (4) 学校法人大阪電気通信大学発展に関する事業
- (5) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

(公告方法)

第5条 当法人の公告は、電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

(機関)

第6条 当法人は、理事会及び監事をおく。

第2章 会員及び社員

(会員)

第7条 当法人の会員は、次のとおりとする。

- (1) 正会員
学校法人大阪電気通信大学が設置した大学の学部を卒業、又は大学院を修了した者で、卒業時あるいは修了時まで社員総会の定める額の会費を納めた者
- (2) 準会員
学校法人大阪電気通信大学が設置した大学の学部又は大学院に在籍している学生で、社員総会の定める額の会費を納めた者
- (3) 特別会員
学校法人大阪電気通信大学の専任職員(大阪電気通信大学高等学校の職員を除く。)
- (4) 賛助会員
当法人の目的に賛同し、その事業を援助する者で、理事会の承認を得た個人又は団体
- (5) 名誉会員
当法人の目的達成に貢献をした者で、理事会の決議を経て推薦された個人

(社員及び代議員)

第8条 当法人は、おおむね正会員500人の中から1人の割合で選出される代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「法人法」という。)に定める社員とする。

(社員の選出)

第9条 社員は、当法人の正会員の中から選考し、理事会の承認をもって選出され、会長が社員総会で報告する。

- 2 社員の選考方法等、必要な事項は別に定める。

(社員の任期)

第10条 社員の任期は、選出後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結のときまでとする。ただし、任期満了後においても後任者が選出されるまではその職務を行わなければならない。

- 2 社員が社員総会決議取消しの訴え(法人法第266条第1項)、解散の訴え(法人法第268条)、責任追及の訴え(法人法第278条)及び役員解任の訴え(法人法第284条)を提起している場合(法人法第278条第1項に規定する訴えの提起の請求をしている場合を含む。)には、前項本文の規定にかかわらず、当該訴訟が終結するまでの間、当該社員はなお法人法上の社員たる地位を有するものとする。ただし、当該社員は、役員選任及び解任(法人法第63条及び第70条)並びに定款変更(法人法第146条)についての議決権は有しないものとする。
- 3 任期満了前に退任した社員の補欠として選出された者の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。
- 4 増員により選出された社員の任期は、他の社員の任期の残存期間と同一とする。

(正会員の権利)

第11条 社員でない正会員は、法人法に規定された次に掲げる社員の権利を、社員と同様に当法人に対して行使することができる。

- (1) 法人法第14条第2項に定める権利(定款の閲覧等)
- (2) 法人法第32条第2項に定める権利(社員名簿の閲覧等)
- (3) 法人法第50条第6項に定める権利(社員の代理権証明書面等の閲覧等)
- (4) 法人法第51条第4項及び第52条第5項に定める権利(議決権行使書面等の閲覧等)
- (5) 法人法第57条第4項に定める権利(社員総会の議事録の閲覧等)
- (6) 法人法第129条第3項に定める権利(計算書類等の閲覧等)
- (7) 法人法第229条第2項に定める権利(清算法人の貸借対照表等の閲覧等)
- (8) 法人法第246条第3項、第250条第3項及び第256条第3項に定める権利(合併契約等の閲覧等)

(会費の支払義務)

第12条 正会員(社員を含む。)及び準会員は、社員総会の定める額の会費を支払わなければならない。

(退会)

第13条 会員は、次に掲げる事由によって退会する。

- (1) 会員本人の退会の申し出
- (2) 死亡
- (3) 除名
- (4) 失踪宣告を受けたとき
- (5) 成年被後見人又は被保佐人となったとき

- 2 会員の除名は、当法人の名誉を毀損し、又は当法人の目的に反する行為をする等正当な事由があるときに限り、社員総会の決議によってすることができる。この場合は、当該会員に対し、当該社員総会の日から1週間前までにその旨を通知し、かつ、社員総会において弁明する機会を与えるものとする。

- 3 第1項の規定により会員が退会する場合でも、当該会員が既に支払った会費の返還は行わないものとする。

(退社)

第14条 社員は、次に掲げる事由によって退社する。

- (1) 社員本人の退社の申し出
- (2) 死亡
- (3) 総社員の同意
- (4) 除名
- (5) 失踪宣告を受けたとき
- (6) 成年被後見人又は被保佐人となったとき

- 2 社員の除名は、当法人の名誉を毀損し、又は当法人の目的に反する行為をする等正当な事由があるときに限り、社員総会の決議によってすることができる。この場合は、当該社員に対し、当該社員総会の日から1週間前までにその旨を通知し、かつ、社員総会において弁明する機会を与えるものとする。

- 3 第1項の規定により社員が退社する場合でも、当該社員が既に支払った会費及び経費の返還は行わないものとする。

(会員名簿)

第15条 当法人は、会員の氏名及び住所を記載した会員名簿を作成し、当法人の主たる事務所に備えおくものとする。

- 2 当法人の会員に対する通知又は催告は、会員名簿に記載した住所、又は会員が当法人に通知した居所にあてて行うものとする。

- 3 会員名簿の管理は、個人情報保護法による。

(社員名簿)

第16条 当法人は、社員の氏名及び住所を記載した社員名簿を作成し、当法人の主たる事務所に備えおくものとする。

- 2 当法人の社員に対する通知又は催告は、社員名簿に記載した住所、又は社員が当法人に通知した居所にあてて行うものとする。

第3章 社員総会

(構成)

第17条 社員総会は、社員をもって構成する。

- 2 社員総会における議決権は、社員1名につき1個とする。

(権限)

第18条 社員総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会費
- (2) 会員及び社員の除名
- (3) 理事及び監事の選任及び解任
- (4) 事業計画及び収支予算
- (5) 事業報告
- (6) 貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書)及び財産目録
- (7) 定款の変更
- (8) 解散
- (9) 理事会において社員総会に付議した事項
- (10) 前各号に定めるもののほか、社員総会で決議するもの

として法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第19条 当法人の社員総会は定時社員総会及び臨時社員総会の2種とし、定時社員総会は、毎年1回、毎事業年度末日の翌日から3か月以内に開催し、臨時社員総会は、必要に応じて開催する。

(招集)

第20条 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長がこれを招集する。

- 2 総社員の議決権の10分の1以上の議決権を有する社員は、会長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由を示して、社員総会の招集を請求することができる。その場合、理事会の決議により会長がこれを招集する。

- 3 社員総会を招集するには、法令に別段の定めがある場合を除き、開催日より1週間前までに、社員に対して書面で招集通知を発しなければならない。

(議長)

第21条 社員総会の議長は、当該社員総会において社員の中から選出する。

(決議)

第22条 社員総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員及び社員の除名
- (2) 理事及び監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) 前各号に定めるもののほか、法令で定められた事項

(議決権の代理行使)

第23条 社員は、当法人の社員1名を代理人として、議決権を行使することができる。ただし、この場合には、社員総会ごとに代理権を証する書面を提出しなければならない。

(決議の省略)

第24条 理事又は社員が社員総会の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき、社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

(社員総会議事録)

第25条 社員総会の議事については、法令に定める事項を記載した議事録を作成し、議長、会長及び出席社員2名がこれに署名又は記名押印し、10年間当法人の主たる事務所に備えおくものとする。

第4章 役員等

(役員の設定)

第26条 当法人に、次の役員をおく。

- (1) 理事 11名以上21名以内
- (2) 監事 2名以上3名以内
- 2 理事のうち1名を会長、3名以内を副会長、1名を事務局長とする。
- 3 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長及び事務局長をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事

とする。

(役員を選任)

第27条 理事及び監事は、社員総会の決議によって社員から選任する。

- 2 会長、副会長及び事務局長は、理事会の決議によって理事から選定する。

(理事の職務及び権限)

第28条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、当法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、会長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従いその職務を代行し、会長が欠けたときはその職務を行う。

(監事の職務及び権限)

第29条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、当法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(理事及び監事の任期)

第30条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結のときまでとする。ただし、再任を妨げない。

- 2 任期満了前に退任した理事及び監事の補欠として選任された者の任期は、前任者の任期の残存期間とする。
- 3 増員により選任された理事の任期は、他の在任理事の任期の残存期間とする。
- 4 理事又は監事は、第26条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(報酬等)

第31条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、その職務執行に要する費用を支払うことができる。

(責任の一部免除又は限定)

第32条 当法人は、理事及び監事の法人法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として免除することができる。

- 2 当法人は、理事(業務執行理事又は当法人の使用人でないものに限る。)又は監事との間で、法人法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、その契約に基づく賠償責任の限度額は、金10万円以上で当法人があらかじめ定めた額と法令の定める最低責任限度額とのいずれか高い額とする。

(顧問)

第33条 会長は、当法人に顧問をおくことができる。

- 2 顧問は会長の諮問に応え、意見を述べることができる。
- 3 顧問には、必要な諸経費を支払うことができる。

第5章 理事会

(構成)

第34条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

- 2 監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べなければならない。

(権限)

第35条 理事会は、次の職務を行う。

- (1)当法人の業務執行の決定
- (2)理事の職務の執行の監督
- (3)会長、副会長及び事務局長の選定及び解職
- (4)前各号に定めるもののほか、法令又はこの定款で定められた事項
- (5)その他、会長が必要と認めた事項

(招集)

第36条 理事会は、会長が招集し、開催日の1週間前までに各理事及び各監事に対して招集の通知を発するものとする。ただし、緊急の場合にはこれを短縮することができる。

(招集手続の省略)

第37条 理事会は、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集手続を経ずに開催することができる。

(議長)

第38条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

(決議)

第39条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(決議の省略)

第40条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき(監事が当該提案について異議を述べたときを除く。)は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(報告の省略)

第41条 理事又は監事が、理事及び監事の全員に対して理事会に報告すべき事項を通知したときは、当該事項を理事会へ報告することを要しない。ただし、法人法第91条第2項の規定による報告については、この限りではない。

(理事会議事録)

第42条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した代表理事及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印する。
- 3 第1項の議事録は理事会の日から10年間主たる事務所に備えおく。

第6章 資産及び会計

(事業年度)

第43条 当法人の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までの年1期とする。

(事業計画及び収支予算)

第44条 当法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の事業計画及び収支予算は、定時社員総会に提出し、

承認を受けなければならない。

(事業報告及び収支決算)

第45条 当法人の事業報告及び収支決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1)事業報告
- (2)事業報告の附属明細書
- (3)貸借対照表
- (4)損益計算書(正味財産増減計算書)
- (5)貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書

- 2 前項の書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時社員総会に提出し、承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類及び監査報告書を、定時社員総会の日の2週間前の日から5年間、主たる事務所に備えおくものとする。

(剰余金)

第46条 当法人は、剰余金の分配を行わない。

第7章 解散及び清算

(解散の事由)

第47条 当法人は、次に掲げる事由によって解散するものとする。

- (1)社員総会の決議
- (2)社員が欠けたこと
- (3)合併(合併により当法人が消滅する場合に限る。)
- (4)破産手続開始の決定
- (5)法人法第261条第1項又は第268条の規定による解散を命ずる裁判

(残余財産の帰属)

第48条 当法人が清算をする場合において有する残余財産は、学校法人大阪電気通信大学に贈与するものとする。

第8章 委員会及び部会

(委員会の設置等)

第49条 当法人の事業を推進するために必要あるときは、理事会は、その決議により、委員会を設置することができる。

- 2 委員会の委員は、理事会が選任する。
- 3 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

(部会の設置等)

第50条 当法人の事業を推進するために必要あるときは、理事会は、その決議により、部会を設置することができる。

- 2 部会の部員は、理事会が選任する。
- 3 部会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第9章 事務局

(設置等)

第51条 当法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 前項の職員は、会長が理事会の承認を得て任免する。
- 4 職員は、有給とする。
- 5 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第10章 支部

(設置等)

第52条 当法人は、理事会の決議により、支部を設置することができる。

- 2 支部の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第11章 附 則

(大阪電気通信大学友電会の支部)

第53条 大阪電気通信大学友電会の支部は、前条の規定にかかわらず、当法人成立の日から当法人の支部となる。

(委任)

第54条 この定款に定めるもののほか、当法人の運営に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

(設立時社員の氏名及び住所)

第55条 当法人の設立時社員の氏名及び住所は、次のとおりとする。

【社員・住所】 【社員・氏名】

(設立時社員の任期)

第56条 設立時社員の任期は設立後最初の定時社員総会までとする。

(設立時役員)

第57条 当法人の設立時理事及び設立時監事は、次のとおりとする。

設立時理事 【理事・氏名】、【理事・氏名】、
【理事・氏名】、【理事・氏名】
設立時監事 【監事・氏名】、【監事・氏名】

(設立時理事の任期)

第58条 設立時理事の任期は設立後最初の定時社員総会までとする。

(最初の事業年度)

第59条 当法人の最初の事業年度は、当法人成立の日から平成〇〇年3月31日までとする。

(最初の事業年度の事業計画及び収支予算)

第60条 当法人の最初の事業年度の事業計画及び収支予算については、第44条の規定にかかわらず、当法人成立後速やかに会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。

(大阪電気通信大学友電会の会員)

第61条 大阪電気通信大学友電会の正会員は、第7条の規定にかかわらず、当法人成立の日から当法人の正会員となり、大阪電気通信大学友電会の準会員は第7条の規定にかかわらず、当法人成立の日から当法人の準会員となる。

(定款に定めのない事項)

第62条 この定款に定めのない事項については、すべて法人法その他の法令の定めるところによる。

以上、一般社団法人大阪電気通信大学友電会を設立するため、設立時社員〇〇名の外〇名の定款作成代理人である司法書士井上真太郎は、電磁的記録である本定款を作成し、電子署名する。

平成 年 月 日

設立時社員【社員・氏名】

設立時社員【社員・氏名】

設立時社員【社員・氏名】

上記設立時社員〇名の定款作成代理人
司法書士 井上真太郎

大阪電気通信大学 友電会定款

第1章 総 則

- 第1条 本会は大阪電気通信大学友電会と称する。
- 第2条 本会は事務所を大阪府寝屋川市初町18番8号大阪電気通信大学内に置く。
- 第3条 本会は理事会の議決を経て支部を設けることができる。支部設置規則は、この定款の細則として別に定める。支部には支部長を置く。

第2章 目的および事業

- 第4条 本会は大阪電気通信大学と緊密に連繫を保持し、その発展に協力し会員相互の親睦と研修を図ると共に教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする。
- 第5条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- ①研究発表会、講習会、座談会等の開催
 - ②機関誌、その他の刊行
 - ③大阪電気通信大学発展のための事業
 - ④会員相互の親睦と連絡
 - ⑤その他、目的を達成するための事業

第3章 会 員

- 第6条 本会の会員は次の通りとする。
- ①正会員
学校法人大阪電気通信大学が設置した大学の学部、大学院を卒業、または修了した者で、卒業時あるいは修了時まで所定の入会金および会費を納めた者
 - ②準会員
学校法人大阪電気通信大学が設置する大学の学部、大学院に在籍している学生で、所定の入会金を納めた者
 - ③特別会員
学校法人大阪電気通信大学が設置する大学の学部、大学院に専従する教職員である者
 - ④賛助会員
本会の目的に賛同し、その事業を援助する者で、理事会の承認を得た個人または団体
 - ⑤名誉会員
本会の目的達成に多くの貢献をした者で理事会の決議を経て推薦された個人
- 第7条 会員は総会を組織し、総会の議決に加わる。
- 2、会員は本会の目的事業の遂行に積極的に協力するとともに、本会の会員としてふさわしくない行為をしてはならない。
 - 3、会員は本会の行う事業に対し、優先的にその利益を受けることができる。
- 第8条 会員は次の理由によりその資格を喪失する。
- ①脱 退
 - ②死亡および失跡宣言
 - ③除 名
- 第9条 会員が次の各号の一に該当するときは総会の議決を経て、会長がこれを除名することができる。
- ①本会の会員としての義務に違反したとき
 - ②本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為があったとき
- 第10条 既納の入会金および会費等はいかなる理由があっても、これを返還しない。

第4章 役員、評議員、顧問および職員

- 第11条 本会には次の役員を置く。

理事10名以上21名以内(うち会長1名、副会長3名、事務局長1名を含む)。

監事3名。

理事および監事は評議員会で選出し総会で承認を得る。理事は互選で会長1名、副会長3名、事務局長1名を決める。理事は会長の指名により財務担当をはじめとする会務を分担する。監事は理事を兼任出来ない。

第12条 会長は本会の業務を総理し本会を代表する。

- 2、副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、または欠けたときは会長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

第13条 理事は理事会を組織し、この定款に定めるもののほか、総会より委任せしめられた事項は議決し、執行する。

第14条 監事は友電会業務、財産の運用、会計の処理等の監査を行う。

第15条 本会の役員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

- 2、補欠による役員の任期は前任者の残任期間とする。
- 3、役員はその任期満了後も後任者が就任するまではその職務を行う。
- 4、役員は本会の役員としてふさわしくない行為があった場合、または特別の事情があった場合には、その任期中であっても理事会の議を経て評議員会の議決により、会長がこれを解任することができる。

第16条 役員は有給とすることができる。

第17条 本会には評議員を若干名置く。

- 2、評議員は評議員会を組織し、この定款に定めるもののほか、総会より委任せしめられた事項を議決する。また理事会の諮問に応ずる。
- 3、評議員の任期は2年とする。ただし再任は妨げない。

第18条 本会の評議員は次の通りとする。

- ①正会員のうちから卒業年度別に総会または理事会で選出された者
- ②支部長

第19条 本会には理事会の議決により顧問を若干名置くことができる。

- 2、顧問は会長がこれを委嘱する。
- 3、顧問は会長の相談に応ずる。

第20条 本会の事務を処理するため、事務局を設け職員を置くことができる。

- 2、職員は会長が任免する。
- 3、職員は有給とする。

第5章 会 議

(理事会)

第21条 理事会は毎年6回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた場合または理事現在総数の3分の1以上、あるいは監事から会議の目的たる事項を示して請求のあったときは、ただちに会長は臨時理事会を招集しなければならない。

- 2、理事会の議長は会長とする。

第22条 理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、理事現在総数の2分の1以上出席し、その出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 2、理事は理事会を欠席する場合、あらかじめ書面をもって意見を表明しなければならない。
- 3、理事の委任状は出席者とみなされない。ただし、支部長が理事を兼ねた場合に限り、当該支部の役員で、理事でない者が委任状を持参のうえ、代理として出席し、議決と執行に加わることができる。

(評議員会)

第23条 評議員会は毎年3回会長が招集する。ただし会長または監事が必要と認めたとき、または評議員現在総数の2分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求のあったときは、会長はその請求のあった日から20日以内に評議員会を招集しなければならない。

第24条 評議員会の議長は会議のつど評議員の互選で決める。

第25条 評議員会の招集は、すくなくとも10日以前にその会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。

第26条 次に掲げる事項については、理事会においてあらかじめ評議員の意見を聞かなければならない。

①事業計画および収支予算案、ならびに事業報告および収支決算についての事項

②不動産の買入れ、または基本財産の処分についての事項

③その他、本会の業務に関する重要事項で会長において必要と認めた事項

第27条 評議員会は評議員現在数の5分の1以上出席しなければ、その議事を開き議決することは出来ない。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は、出席者とみなす。

第28条 評議員会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(総会)

第29条 通常総会は毎年1回、会計年度終了後90日以内に会長が招集する。

2、臨時総会は理事会または監事が必要と認めたとき、ただちに会長がこれを招集しなければならない。

第30条 会長は会員現在総数の10分の1以上から会議に付議すべき事項を示して、総会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から20日以内に臨時総会を招集しなければならない。

第31条 総会は、すくなくとも10日以前にその会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。

第32条 次の事項は通常総会に提出して、その承認を受けなければならない。

①事業報告および収支決算ならびに事業計画および収支予算

②財産目録および貸借対照表

③その他理事会において必要と認めた事項

第33条 総会は、会員現在総数の200分の1以上出席しなければ、その議事を開き議決をすることが出来ない。ただし、当該事項につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は出席者とみなす。

第34条 総会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第35条 総会の議事の要項および議決した事項は会員に通知する。

第36条 総会、理事会および評議員会の議事録は議長が作成し、議長および出席代表2名以上が署名捺印のうえ、これを保存する。

第6章 資産および会計

第37条 本会の収入は次の通りとする。

①入会金および会費

②事業に伴う収入

③資産から生じる果実

④寄付金品

⑤その他の収入

第38条 本会の資産を分けて、基本財産および運用財産の2種類とする。

2、基本財産は、別紙財産目録のうち、基本財産の部に記載する資産および将来基本財産に編入される資産で構成する。

3、運用財産は、基本財産以外の資産とする。ただし、寄付金品であって、寄付者の指定するものはその指定に従う。

第39条 本会の資産は、理事会の決議によって会長が保管する。

2、基本財産のうち、現金は理事会の決議によって確実な有価証券を購入するか、または定額郵便貯金とし、もしくは確実な銀行に信託するか、あるいは定額預金として会長が保管する。

第40条 基本財産は処分し、または担保に供してはならない。ただし本会の事業遂行上、やむを得ない理由があるときは、理事会および総会の議決を得、その一部に限り処分し、担保に供することが出来る。

第41条 本会の事業遂行に要する費用は入会金、会費事業に伴う収入および資産が生ずる果実等の運用財産をもって支弁する。

第42条 本会の事業計画およびこれに伴う収入予算は毎年会計年度開始前に会長が編成し理事会の議決および総会の承認を受けなければならない。なお、事業計画およびこれに伴う収支予算を変更した場合も同様とする。

第43条 本会の決算は、会計年度終了後3ヵ月以内に会長が作成し、財産目録、貸借対照表、事業報告書および会員の異動状況書とともに監事の意見をつけて理事会および通常総会の承認を受けなければならない。

2、本会の決算に剰余金があるとき、理事会の議決および総会の承認を受けて、その一部もしくは全部を基本財産に編入し、または翌年に繰越すものとする。

第44条 収支予算で定めるものを除くほか、新たに義務の負担をし、または権利の放棄をしようとするときは、理事会および総会の議決を経なければならない。

第45条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第7章 定款の変更ならびに解散

第46条 この定款は、理事会および総会のおおの5分の3以上の議決を経なければ変更することが出来ない。

第47条 本会の解散は、理事会および総会のおおの4分の3以上の議決を経なければならない。

第48条 本会の解散に伴う残余財産の処分は理事会および総会のおおの4分の3以上の議決を経てから大阪電気通信大学学長の許可を受けて、本会の目的に類似の目的を有する公益事業に寄付するものとする。

第8章 補 則

第49条 この定款施行についての細則は、理事会および評議員会の議決を得て別に定める。

第50条 昭和48年11月1日施行
昭和52年5月29日改正
昭和55年6月29日改正
昭和57年6月27日改正
平成3年6月30日改正
平成5年6月27日改正
平成7年6月25日改正
平成13年6月23日改正
平成16年6月26日改正
平成26年6月21日改正

「大阪電気通信大学 クラブ同窓会」平成30年度通常総会議案

●第1号議案 平成29年度事業報告

＜平成29年度 活動・運営基本方針＞

- ・学生支援事業の強化（大学祭、ホームカミングデーを含め、新規支援事業を検討）。
- ・組織フラット化および拡大（各団体・クラブOB会への参画勧誘等）。
- ・情報発信の強化（各団体・クラブOB会へのFacebook参画勧誘等）。

＜活動・運営基本方針への対応＞

- ◇4月1日：寄付金受領各位への礼状メールとフェースブック掲載。
- ◇6月18日：「平成29年度 通常総会」を開催。
- ◇4～3月：定例・臨時「幹事会」を開催（計年4～6回、必要に応じ）。（計4回：4月22日、6月18日、11月4日、3月17日）。
- ◇4～3月：「HP」「Facebook」メンテナンスのための協力学生とミーティング・共同作業。（計0回：本年度未実施）。
- ◇4～3月：学生各団体・クラブおよび関係団体からの要請に対する支援（必要に応じ）。

（自治会吹奏楽団：定期演奏会後援、高校同窓会総会出席、女子バスケット祝い）。

- ◇4～3月：大学祭時に限定せず大学祭協賛事業同等の学生向けイベント開催と支援協力。
- ◇7月1日：リーダーズセミナー（体育会）～参加。
- ◇3月9日：リーダーズ・サミット（体育会・文化会）～参加。
- ◇4～3月：学園・学生主催行事等、関係団体等慶弔時等への出席等（必要に応じ）。（計2回：4月22日、5月21日）
- ◇4～3月：各OB・OG・関係団体等慶弔、電報等（必要に応じ）。
- ◇4～3月：クラブ同窓会役員および関係者への寄付金要請（必要に応じ）。
- ◇4～3月：Facebookによる情報発信の強化。
- ◇4～3月：各OB・OG会参画勧誘強化。
- ◇4～3月：各OB・OG会設立支援（必要に応じ）。
- ◇3月末日：役員任期満了による次期役員就任要請。

●第2号議案 平成29年度収支決算報告 <平成29年4月1日～30年3月31日>

科目	決算	予算	増減	備考
■収入の部				
運営助成金	0	0	0	
その他助成金	0	0	0	
寄付金・祝金	142,035	150,000	-7,965	幹事・他による寄付
前期繰越金	50,058	50,058	0	
合計	192,093	200,058	-7,965	
■支出の部				
会議費	0	10,000	-10,000	
交通費	56,000	50,000	6,000	協力学生ミーティング・各事業等
事務通信費	2,235	10,000	-7,765	郵送・弔電等
大学祭協賛事業費	0	0	0	トークショー・大学祭・ホームカミングデー経費
HP関係費	0	20,000	-20,000	協力学生アルバイト・サーバ賃借・通信費
懇親会費	0	0	0	懇談会協力等
学生協力費	62,000	50,000	12,000	学生協力等
慶弔費	12,500	50,000	-37,500	学生各団体・関係各団体祝い金等
雑費	324	10,058	-9,734	雑費
次期繰越金	59,034	0	59,034	
合計	192,093	200,058	-7,965	

●第3号議案 平成29年度監査報告 大阪電気通信大学クラブ同窓会の平成29年度事業報告

大阪電気通信大学クラブ同窓会
会長 竹田 治英 殿

大阪電気通信大学クラブ同窓会の平成29年度事業報告ならびに平成29年度収支決算報告を監査の結果、何れも会則に従い適正かつ真摯に執行されていることを認めます

平成30年4月21日
大阪電気通信大学クラブ同窓会
監査役 沖 洋一 (印)
監査役 新川 拓也 (印)
監査役 池田 清 (印)

●第4号議案 平成30年度事業計画案

<平成30年度 活動・運営基本方針>

- ・学生支援事業の強化（大学祭、新規支援事業を検討）。
- ・組織フラット化および拡大（各団体・クラブOB会への参画勧誘等）。
- ・情報発信の強化（各団体・クラブOB会へのFacebook参画勧誘等）。

<活動・運営基本方針への対応>

- ◇4月1日：寄付金受領各位への礼状メールとフェイスブック掲載。
- ◇6月23日：「平成30年度 通常総会」を開催。
- ◇4～3月：定例・臨時「幹事会」を開催（計年4～6回、必要に応じ）。
- ◇4～3月：「HP」「Facebook」メンテナンスのための協力学

生との共同作業。

- ◇4～3月：学生各団体・クラブおよび関係団体からの要請に対する支援（必要に応じ）。
- ◇4～3月：大学祭時に限定せず大学祭協賛事業同等の学生向けイベント開催と支援協力。
- ◇4～3月：学園・学生主催行事等、関係団体等慶弔時等への出席等（必要に応じ）。
- ◇4～3月：各OB・OG・関係団体等慶弔、電報等（必要に応じ）。
- ◇4～3月：クラブ同窓会役員および関係者への寄付金要請（必要に応じ）。
- ◇4～3月：Facebookによる情報発信の強化。
- ◇4～3月：各OB・OG会参画勧誘強化。
- ◇4～3月：各OB・OG会設立支援（必要に応じ）。

●第5号議案 平成30年度収支予算案 <平成30年4月1日～31年3月31日>

科目	今収支予算案	前期実績	増減	備考
■収入の部				
運営助成金	0	0	0	
その他助成金	0	0	0	
寄付金・祝金	150,000	142,035	7,965	幹事・他による寄付
前期繰越金	59,034	59,034	0	
合計	209,034	192,093	16,941	
■支出の部				
会議費	10,000	0	10,000	
交通費	50,000	56,000	-6,000	協力学生ミーティング・各事業等
事務通信費	10,000	2,235	7,765	郵送・弔電等
大学祭協賛事業費	0	0	0	トークショー・大学祭・ホームカミングデー経費
HP関係費	20,000	0	20,000	協力学生アルバイト・サーバ賃借・通信費
懇親会費	0	0	0	懇談会協力等
学生協力費	50,000	62,000	-12,000	学生協力等
慶弔費	50,000	12,500	37,500	学生各団体・関係各団体祝い金等
雑費	10,058	324	9,734	雑費
次期繰越金	0	59,034	-59,034	
合計	200,058	192,093	7,965	

●第6号議案 平成30年度役員案（各年次は入学年）

- ◆幹事
 - ・森 和明（S44電子計算組織研究会）
- ◆会長：
 - ・竹田 治英（S58少林寺拳法部）
- ◆事務局：
 - ・金野 洋明（H06柔道部）
 - ・中野 正三（S40卓球部）
 - ・野田 鐘一（S41日本拳法部）
 - ・平岡 臨（S42少林寺拳法部）
 - ・志村 哲樹（S42剣道部）
 - ・大音 博司（S42柔道部）
 - ・宿谷 幸男（S42空手道部）
 - ・幸田 秀雄（S42柔道部）
 - ・水谷 元也（S43応援団）
 - ・岡本 清孝（S44柔道部）
- ◆役員候補：
 - ・船越 亨（S47柔道部）
 - ・内野 正道（S47柔道部）
 - ・細川 雅巳（S48少林寺拳法部）
 - ・岡川 正寛（S48柔道部）
 - ・宮條 研次（S50ワンダーフォーゲル部）
 - ・元花 修（S52少林寺拳法部）
 - ・長谷川慎二（H08柔道部）
 - ・村上 豊裕（H16柔道部）
 - ・竹中 浩之（H17柔道部）
 - ・嶋村 拓都（H20柔道部）
 - ・中島 拓哉（H20柔道部）

◆監査役

- ・池田 清（S40少林寺拳法部）
- ・沖 洋一（S50電子計算組織研究会）
- ・新川 拓也（H01大学祭実行委員会）

◆顧問

- ・伊與田 功（学生部部长）
- ・四元 博文（学生部次長）

◆学生幹事

- ・常任自治委員会委員長・副委員長
- ・体育会本部本部長・副本部長
- ・文化会本部本部長・副本部長
- ・大学祭実行委員会委員長・副委員長
- ・生協学生委員会委員長・副委員長

●第7号議案 当日発議の議案

大阪電気通信大学高等学校同窓会会報

〔高校同窓会からのご案内〕

総会・懇親会の案内を「改革」

大阪電気通信大学高等学校同窓会
会長 北田 由博

大阪電気通信大学高等学校同窓会会長の北田由博です。

母校の将来の生徒減少を見据え、同窓会の運営方法を改革いたします。

入学する生徒が少ないと、当然、卒業する生徒も少なくなります。そのことは、同窓会費の収入に影響いたします。今後の同窓会の運営を安定させる改革として、まず、総会・懇親会の案内方法について、改革いたします。総会・懇親会の案内を兼ねた、会報をすべての同窓生に郵送しておりますが、今回の案内を最後に、今後は、HPの活用を、皆様をお願いする予定でございます。

そのために、HPの充実に取り組んでおります。

総会・懇親会の案内、会誌の閲覧、母校の情報など、HPで発信していきます。皆様におかれましては、HPの確認と総会・懇親会の出欠についても、HPで対応していただきますように、お願いいたします。

今回の総会・懇親会の案内に、HPに関する「お知らせ」も同封いたしております。また、同封のハガキにご意見及び従来どおりの郵送を希望される場合は、その旨申し出ていただきますようお願いいたします。

経費削減のため、同窓生の皆様には、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



昨年、初めて、電気通信中学(在14年卒業生555名)の同窓会が開催されて、鷺津先生、河合先生、伊藤先生、長岡元校長の奥様を含む43名が参加され、67期(平成27年)卒業の諸君も、先生5名と22名の参加を得て盛大に開催されました。

また、19期生(昭和47年卒)の有志15名が、2月18日～19日、初めての一泊二日の同窓会を開催されました。

このように、我が、高校卒業生も、個々に親交を深めて頑張っています。

総会の参加者も、年々増加しています。同窓生の皆様方には、是非、今年、ご出席してくださることを期待しております。

よろしくお願いいたします。



大阪電気通信大学高等学校
校長 廣谷 明

電通高校 校長に就任して

謹啓 陽春の候、友電会の皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと、このたび4月1日付けで母校の大阪電気通信大学高等学校長を拝命いたしました。友電会では、多くの同窓関係者に支えていただきながら支部活動の活性化や教育懇話会を通じた学生支援活動などに微力ながら取り組んできました。

今後は、学園の新たなる活力の一助となすべく努力を先輩諸氏からの学びや、同窓生の学園への熱き思いを胸に秘め、加えて今までの教職経験を活かしながら、大阪電気通信大学との連携すなわち、「高大連携」を重点に本学特有のICTを強みとする最先端のテクノロジーに対応できる人材の育成に努め、学生一人ひとりにとっては、「満足度の高い学びがある」学校づくりを本学関係者の皆さま方と連携を進め、学園全体の発展に寄与していきたいと決意するものです。

つきましては、高等学校ならびに学園の発展に何卒皆様方のより一層のご指導ご鞭撻を賜りたく衷心よりお願い申し上げます。

謹白

■電子機械工学科 岸岡清先生が最終講義



2月13日（火）、今年度で退職される電子機械工学科の岸岡清先生が最終講義が行われました。母校の多くの学科では、年度末に教員の退職を記念して、通常講義とは別に「最終講義」と題した特別講義を開催しています。この日も恩師の最後の講演を聴講するた



め多くの学生が出席し、また教職員らも多数集まりました。

講義では、ご自身の研究内容について紹介するとともに、本学の学生部長在任時のエピソードやカナダ McGill 大学への留学の思い出などを振り返りました。どこまでも「学生のために」を信念で、本学に尽くしてきた先生の人柄に、多くの学生が感謝の拍手を送り、講義終了後には、花束贈呈が行われ、学生との記念撮影なども行われました。

（記事・写真ともに母校ホームページ「2018. 02. 13」掲載分より）

■人間科学研究センターの坂井清泰先生と高橋保則先生が最終講義

2月5日（月）、今年度で退職される人間科学研究センターの坂井清泰先生と高橋保則先生の最終講義が行われました。母校の多くの学科では、年度末に教員の退職を記念して、通常講義とは別に「最終講義」と題した特別講座を開催しています。

講義タイトルは以下の通りです。

- ・坂井 清泰先生 「青年期教育と労働」
- ・高橋 保則先生 「みんなと振り返る41年」



人間科学研究センターにおいて、研究・教育に尽力された2人の教員は講義の中で、これまでの自身の研究を紹介するとともに、本学の歴史や学生た



ちとの思い出を振り返りました。和やかな雰囲気の中で行われました。

（記事・写真ともに母校ホームページ「2018. 02. 06」掲載分より）

■基礎理工学科 西村純一先生の最終講義



平成30年2月23日（金）に、今年度で退職される基礎理工学科・西村純一先生の最終講義が行われました。母校の多くの学科では、年度末に教員の退職を記念して、通常講義とは別に「最終講義」と題した特別講義を開催しています。この日も恩師の最後の講



演を聴講するため多くの学生が出席し、また教職員らも多数集まりました。

最終講義では、「可換環論と60年」と題してご自身の研究内容について紹介するとともに、思い出などを振り返り多くの学生が感謝の拍手を送りまし

た。

また、同じく長年に亘り本学に多大なご貢献をいただきました、数理科学研究センターの坂田定久教授にもご挨拶いただき、「努力に勝るものはない」と学生たちに温かいメッセージをいただきました。

そして、岡山大学へうつることになった数理科学研究センターの門田直之先生にもご挨拶いただきました。講義終了後には、3名の方へ花束贈呈が行われ、学生との記念撮影なども行われました。

（記事写真ともに母校ホームページ「2018. 02. 26」掲載よ



退職者を代表してお礼の言葉を
のべる岸岡清先生

2017年度 大阪電気通信大学 退職者送別会



母校「2017年度 退職者送別会」開催される

「長い間、母校の発展に貢献され、本当にお疲れ様でした」—母校の「2017年度 退職者送別会」は、平成30年3月16日午後6時から大阪市中央区城見の「ホテルニューオータニ大阪」の「鳳

凰Ⅰの間」で母校教職員や友電会会員など約200名が参加して開催され、労をねぎらいました。退職者は17名で、このうち7名が出席しました。

送別会は、午後6時に入試部の廣田

康人氏と就職部の東尚子さんの司会で開会。主賓の退職者7名が大きな拍手で迎えられ、入場しました。

送別会世話人代表としてP学科の早坂昇先生は「大阪電気通信大学のために、長い間、頑張っていたいただき、ありがとうございます。お疲れ様でした」とあいさつ。

退職者の紹介の後、このほど母校の理事長に選出された大石利光学長(兼務)が「送別のことば」を述べました。「長期間にわたり、大学の発展に尽力



「送別のことば」を
のべる大石利光理
事長・学長



されてこられたことに感謝申し上げます。大学には、いつでも訪問され、現状を見てください」と語りました。

友電会の福田武(E02)会長をはじめ、大石利光理事長・学長、送別会世話人代表のP学科・早坂昇先生、大学後援会の河本智子会長、母校教職員OB会・緑樹会の藤崎紘久(E01)会長の来賓紹介がありました。

母校副学長の森幸治先生の「乾杯」の音頭で、パーティに移りました。

各所で大きな桃色のリボンをつけた退職者を囲んで、思い出話などに花を咲かせていました。

続いて、女子教職員からステージで花束と記念品が贈呈されました。

恒例の「退職者」を中央にしての記念撮影が7回に分けてありました。

退職者を代表してH学科の岸岡清先生が、お礼の言葉を話されました。送別会開催と出席のお礼を述べたあと、大学での生活など、ユーモアを交えてあいさつされました。

「大学歌」を全員で声高らかに斉唱し、主賓の退職者が退場されて、午後8時すぎに閉会しました。

● 2017年度退職者

【出席】(敬称略)

坂井 清泰 AHセンター
高橋 保則 AHセンター
門田 直之 ASセンター
岸岡 清 H学科
西村 純一 N学科
梅尾 博司 P学科
村上 泰司 F学科

【欠席】(敬称略)

坂田 定久 ASセンター
廣下 宏治 S学科
中井 正彦 A学科
池内 博一 A学科
勝田 佳裕 A学科
篠藤 敦子 A学科
荒瀬 司 寝屋川就職課
平野 弘樹 広報課
増田 浩志 実験サポート課
薦田 誠 実験サポート課

「2017年度リーダーズサミット」を開催



3月9日(金)、体育会本部、文化会本部、学生課共催で「2017年度リーダーズサミット」を開催しました。

これは、体育会系・文化会系の垣根を越えて各団体の主将・部長等が集い、他の団体がどのような活動をしているのか、また、部活動のリーダーを務めることで得られるものや、問題を解決するために組織を率いる者としての力を高めるための趣旨で開催しているイベントです。

今回は39団体、計114人のリーダーと本部役員が参加しました。

午前の部では、課外活動の報告を行いました。

午後の部では、就職部不破次長と株式会社スポーツフィールドの吉浦氏による講演及び本学特任教員の齊尾先生によるミニ講義とグループワークが行われました。

就職で役立つ力や組織のまとめ方などについて、講義やグループワークを

行い、リーダー同士の触発の場として、お互いの意識を磨きあうことができました。

また、2017年度活躍した団体に対する表彰式も行われ、団体表彰21団体と個人表彰9人が学生部長より表彰状と副賞が授与されました。

最後に、顧問教員・指導者と学生が懇親会に参加し、よい交流の機会となりました。

この日の学びや交流をきっかけに成長したリーダーたちが、本学をいっそう盛り上げてくれることが期待されます。

(記事・写真ともに母校ホームページ「2018.03.12」掲載より)



■母校の学生団体一覧

2017年6月1日現在

	新入生	学生数
■体育会所属公認団体(部)		
合気道部	2	13名
アメリカンフットボール部	8	29名
空手道部	1	5名
弓道部	6	13名
剣道部	3	18名
硬式庭球部	10	20名
硬式野球部	25	82名
サイクリング部	7	11名
サッカー部	21	36名
自動車部	14	40名
柔道部	4	9名
少林寺拳法部	0	5名
女子バスケットボール部	6	17名
スキー部	22	46名
ソフトテニス部	4	17名
卓球部	5	21名
男子バスケットボール部	13	32名
軟式野球部	14	34名
バドミントン部	7	23名
バレーボール部	10	18名
ハンドボール部	6	22名
ラグビーフットボール部	0	6名
陸上競技部	7	17名
フットサル部	8	27名
小計	203	561名
■文化会所属公認団体(部)		
映画研究会	10	46名
SF研究会	24	56名
音響研究会	0	5名
管弦楽団	8	17名
ギターマンドリンクラブ	3	8名
軽音楽部	19	41名
コミックアート	9	34名
吹奏楽団	0	16名
ストリート部	8	17名
通信研究会	5	19名
デザインコミュニケーション部WAVE	15	26名
電子技術研究部	4	25名
電子計算組織研究会	15	38名
Photo部	1	15名
文道部	1	14名
放送研究会	4	18名
小計	126	396名

	新入生	学生数
■文化会所属公認団体(同好会)		
奇術愛好会	2	9名
美術愛好会	0	1名
ボランティア同好会	2	8名
小計	4	18名
■その他団体(委員会)		
常任自治委員会	7	20名
大学祭実行委員会	17	22名
四條畷キャンパス	19	29名
イベント運営委員会		
小計	43	71名
■自由工房		
マイコンカーラリー	1	4名
マイクロマウス	1	3名
知能ロボット	3	11名
EV(電気自動車)	2	4名
レスキューロボット	3	13名
ヒト型ロボット	10	21名
小計	20	56名
■学生部登録サークル		
漕艇	0	4名
3×3	2	12名
アウトドア	13	13名
ラーメン	8	17名
東方二次創作	10	11名
PlayAndCreate	20	46名
OELC	0	24名
OE-Sports	0	20名
DJ	7	7名
ねやファーム	0	6名
Atlantis	10	10名
卓上遊戯研究会	0	6名
TRPG	0	14名
遊戯王	16	16名
小計	86	206名
■休部団体		
学生自治会直屬公認団体		
応援團		
●総合計	482	1308名

ここに掲載した「母校の学生団体一覧」は、締め切りの関係から、昨年6月1日現在のものです。

母校の「硬式野球部」コーチに元プロ野球選手の

江草仁貴氏が就任



阪神タイガースや広島東洋カープで投手として活躍した元プロ野球選手の江草仁貴(えぐさ ひろたか)氏(37)が、3月1日、大阪電気通信大学硬式野球部(阪神大学野球連盟2部東リーグ、部員60名、鈴木佑亮監督)のコーチに就任します。2月8日には、大石学長、塩田大学事務局長、硬式野球部の鈴木監督、金田部長を交えて就任にあたり挨拶を行いました。

《就任にあたって江草氏のコメント》

今までの経験の中で指導者の存在が大きく自分の可能性を伸ばしてもらったように、学生一人ひとりにあった指導を心がけ、全力で育成に取り組みたい。目標は、一部リーグ昇格。そして全日本大学野球選手権大会への出場を学生と共に目指したい。

▼江草仁貴氏プロフィール

1980年広島県福山市生まれ。1999年4月、盈進高等学校から専修大学に入学。2002年自由枠制度によって阪神タイガースから指名され入団。中継ぎ投手として活躍し、2005年には51試合に登板して阪神タイガースのリーグ優勝に貢献。その後、2011年埼玉西武ライオンズへ移籍。

2012年広島東洋カープへ移籍し、2017年9月20日現役引退を表明。学生野球資格回復認定者。

(記事・写真ともに母校ホームページ「2018.02.14」掲載より)

母校の学生3名がデザインした 「御当地ナンバープレート」(寢屋川市)が選ばれる

寢屋川市がナンバープレートを交付している125cc以下のバイクに、全国で初めて排気量別3種類の御当地デザインを導入することになり、本学の学生が考えた作品が選ばれました。

このデザインは、平成29年11月6日から22日に市民税課窓口などで市民アンケートを行い決定されたものです。いずれも、市名の由来でもある寢屋川をモチーフにした「川」と市の「木・桜」がデザインに取り入れられています。

●排気量別にデザインした学生の紹介

- 50cc (白色) 以下のデザインは、総合情報学部デジタルゲーム学科3年 森本さよみさん
- 90cc (黄色) 以下のデザインは、総合情報学部デジタルゲーム学科3年 伏間雄規さん
- 125cc (ピンク色) 以下のデザインは、総合情報学部デジタルゲーム学科3年 青木佑司さん

(記事・写真ともに母校ホームページ「2018. 03. 02」掲載より)

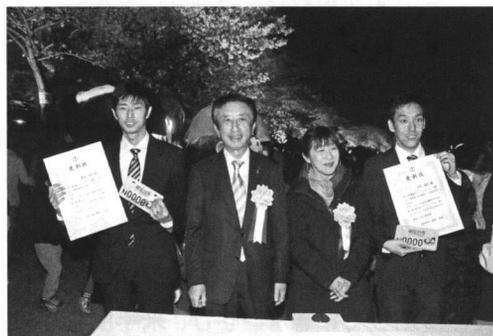


総合情報学部デジタルゲーム学科の学生がデザイン 「御当地ナンバープレート」 の授賞式が開催された

3月30日(金)、寢屋川市の「桜のライトアップ点灯式」において、本学の学生がデザインした御当地ナンバープレートの表彰式が行われました。

北川法夫寢屋川市長より、90cc(黄色)以下のデザインをした総合情報学部デジタルゲーム学科3年伏間雄規さんと、125cc(ピンク色)以下のデザインをした総合情報学部デジタルゲーム学科3年青木佑司さんへ表彰状とデザインをしたプレートが授与されました。

(記事・写真ともに母校ホームページ「2018. 04. 04」掲載より)



産経新聞に母校学生が デザインした 「寢屋川ご当地ナンバープレート」が紹介される



4月12日(木)の産経新聞朝刊20面に、本学の学生がデザインした「寢屋川ご当地ナンバープレート」の記事が掲載されました。(記事・写真ともに母校ホームページ「2018. 04. 12」掲載より)

■支部だより

友電会「大阪支部」(平岡臨(107)支部長)は平成29年10月7日(土)正午から大阪府箕面市温泉町の「箕面温泉ホテル(大江戸温泉物語・箕面スパーガーデン)」の3階「松楓の間」で、「平成29年度総会・懇親会」を開催しました。大阪府下はもとより東京や広島、名古屋など遠方からも含め、母校からも理事長など約40名が出席し、親睦を深めるなど大いに盛り上がりました。



■「表紙3ページ」に集合写真掲載

「大阪電気通信大学歌」を斉唱する出席者

友電会「大阪支部」が平成29年度総会・懇親会を開催

●平成29年度総会—全議案承認

総会は工藤英男(109)大阪支部事務局長の司会で開会し、議長に水谷元也(E08)友電会副会長を選出して議事に入りました。

第1号議案の平成28年度事業報告を平岡支部長、第2号議案の平成28年度会計報告を澤田正雄(P39)大阪支部会計幹事、監査報告を福田真規夫(I13)大阪支部監事より報告がありました。

引き続き第3号議案の平成29年度事業計画を平岡支部長、第4号議案の平成29年度予算案を澤田幹事から報告があり、「大阪支部規定(案)」が提出され、説明の後に水谷議長が全議案の賛否を問うたところ満場一致で承認されました。

大阪支部の役員は、支部長 平岡臨(107)、副支部長 船越亨(108)、事務局長 工藤英男(109)、会計幹事 澤田正雄(P39)、監事 福田真規夫(I13)の各氏で、任期は2年間です。

●懇親会のスタート

懇親会は工藤事務局長が司会を務め、別室でテーブル席のパーティーとなりました。

まず、平岡支部長は「雨がパラつく足元の悪い中、約40名という多くの方々が登場していただきありがとうございます」と感謝の意を示すとともに、「昨年12月に発足、今回で2回目の総会ですが母校はもとより、友電会の発展に取り組んでいきます。本日は旧交を暖めあっていただき、母校や友電会の今後について語っていただきたく思います」とあいさつしました。

続いて、友電会の福田武(E02)会長は「友電会では現在、会の一般社団法人を目指しています。ぜひ、来年度にはスタートさせたく努力しています」とかたり、「法人化は友電会の発展はもとより、しいては母校の発展にもつながると信じています」と出席者に協力をもとめました。

この後、母校の成瀬淳理事長があいさつに立ち、「昨年12月に大阪支部設立総会が開かれ、地元の支部の発足を祝いましたことを昨日のように覚えています。早いもので総会・懇親会の開催は2回目となります。母校はもとより、友電会の発展は『大阪支部』の活発な活動にかかっています。今後の支部活動に期待します」と語り、「来年4月には建築学科を新設するとともにゲーム学科を改変し新たにスタートします」と述べ、母校の発展に協力を要請しました。

●盛況だった懇親会

乾杯の音頭は神奈川県在住の宮崎孝(E01)友電会評議員・元理事。「友電会大阪支部、友電会そして母校の発展、皆さんの益々の健康を祈願して……」、大きな声で「乾杯」を発声。出席者全員がこれに応じてビールで乾杯し、懇親会のスタートです。

しばらく、テーブルに運ばれてくる美味しい料理をつまみながら酒を酌み交わしていました。

各テーブルをビールをつぎながらまわったり、各所で立ち話をするなど、宴たけなわ。

ここで、出席者からのあいさつがありました。

母校教職員OB会「緑樹会(みどりかい)」副会長の新宅實さんは「友電会の





あいさつする
平岡臨(107)大
阪支部長

あいさつする
福田武(E02)友
電会会長

あいさつする
母校の成瀬淳
理事長

乾杯の音頭を
とる宮崎孝
(E01)評議員

紅一点の下城
園代(130)さん



司会の工藤英
男(109)大阪
支部事務局長



議長の水谷
元也(E08)友
電会副会長



支部総会の光景



活動は同窓会として素晴らしいものがあります。その中であって大阪支部は地元の支部。今後の活動に期待しています」とあいさつ。

続いて大阪電気通信大学高等学校同窓会の北田由博会長は「先日、大阪電気通信学園中学校の同窓会があり、50名ほどが出席しました。楽しかったですね」と述べると、平岡支部長は「中学校から大学まで『大阪電気通信学園』の卒業生は、玉井朗雄(108)さんもそうです」と語り、玉井さんにマイクがわたりました。玉井さんは「中学から全て大阪電通学園、いまでもよき思い出が残っています。私にとっては、素晴らしい学園でした」と、感慨深げに語っていました。

引き続き水本雅晴母校名誉教授、寺西正光母校法人事務局長、伊興田功母校学生部長、段安義彦(F06)友電会理事・京都支部長、志村哲樹(F07)友電会理事・組織部長などがあいさつに立ち、最後に紅一点の出席者、下城園代(130)さんがあいさつに立ちました。

下城さんは「現在は独立し、奈良県王寺町久度(JR大和路線・近鉄「王寺駅」の北側100m程)で『ティナ・コンサ

ルティング』を経営しています」とあいさつ。彼女の名刺には「元気で楽しい強運の経営コンサルタント」の文字と「中小企業経営の事なら、お気軽になんでもご相談ください!」の言葉が記してありました。そして、私の好きな言葉として「諦めなければ、必ず夢は叶う!」でした。紅一点ということもあり、あいさつに対して会場からは大きな拍手が送られていました。

●閉会の義

しばらく歓談の後、「大学歌」を出席者全員で斉唱し、水谷友電会副会長の一本締めがありました。

平岡支部長は「今後も母校はもとより、友電会の発展に大阪支部として頑張っていきます。次回の総会・懇親会で、皆さんとお会いしたいです」と語り、全員で記念写真を撮影して閉会しました。

このあと、「箕面スパガーデン」でお風呂に入ったり、二次会に出かけるなど散会しました。

友電会九州支部

「平成29年度総会・懇親会」

マス・ヤマメ養殖場を見学

初参加3名含む16名参加



友電会九州支部(小松周治(F06)支部長)は平成29年10月29日、熊本県玉名市で「平成29年度総会・懇親会」を開催しました。総会に先立ち山鹿市在住の原田光晴(E16)さんが経営する、マス・ヤマメ養殖場を見学しました(参加者11名)。

養殖場まではマイクロバスで行き、山道のうへ道幅が狭く木の枝に車体を擦りながら何とか到着しました。

養殖場では原田さんご夫妻が迎えてくださり、卵から孵化させ成魚になるまでの過程等、色々と説明を聞き、また、参加者から質問が相次ぎました。

その後、「総会・懇親会」の会場がある玉名市の「つかさの湯」へと向かいました。

総会は午後1時から開催され、本日から廣谷明(F12)副会長・岡本清孝(H11)副会長、志村哲樹(F07)組織部長らが出席、無事に終了することができました。

続いて懇親会に移り、初参加者3名を含む16名が自己紹介等を行い和気あいあいのなか、再会を願い閉会しました。



■「京都支部総会」の記念写真は「表紙3ページ」に掲載しています。



①左から南先生 上間君 高橋君 三村君
②マイコンカーラリー実演風景

友電会京都支部が「平成29年度総会・懇親会」を開催

友電会京都支部(段安義彦(F06)支部長)は、11月19日(日)午後1時から京都市中京区四条の「からすま京都ホテル」で「平成29年度総会・懇親会」を開催しました。京都をはじめ近府県在住の約29名の会員等が集まり、母校自由工房学生との交流イベント、湯場崎氏(F06)の「空創散歩」出版報告を楽しんだ後、杯を片手に学生時代の思い出話などしながら親交を深めました。

●平成29年度総会

平成29年度総会は奥田裕(H20)京都支部事務局長の司会で開会し、冒頭、段安支部長があいさつに立ち、「今年も昨年に引き続き、卒業生として何か母校の学生を応援できないか、また、母校の学生の活躍を知ることにより、母校の素晴らしさを実感していただく場を設けました。存分にお楽しみください、今年は京都支部創設の一人、湯場崎氏の「空創散歩」出版報告をご紹介出来る事も、光栄に思っております。」と語り、引き続き友電会を代表して水谷副会長は、「京都支部は、現役学生との交流イベントをここ数年続けてこられ、他の支部にない目線で活動され、友電会にとっても学生との交流の機会が増え非常にうれしく思っております」と挨拶。

総会に移り、議長に下野哲生(H07)

京都支部幹事を選出し、議事に入りました。「平成28年度支部活動報告」を兵頭敏夫(E06)京都支部副支部長が報告、第1号議案の「平成28年度支部会計報告」を引き続き兵頭敏夫京都支部副支部長が報告。北川昇(H06)京都支部監事が「平成28年度活動報告書および収支決算書を監査した結果、適正に執行されていることを認めます」と報告。全会一致で承認されました。続いて、第2号議案の「平成29年支部活動計画・予算案」を兵頭敏夫京都支部副支部長が報告。全会一致で承認されました。

続いて京都支部報告事項として京都支部創設の一人、湯場崎氏の「空創散歩」出版を記念して湯場崎氏ご本人が紹介されました。「刊行報告の機会を頂きありがとうございます。この冊子は、自由・自主・自筆・自問・自答・自費による6つの自による冊子です。

英語名でky thinkingと名付けています」から始まり約20分間、「空創散歩」のさわりを解説されました。

総会は、湯場崎氏の刊行報告で締め、下野哲生議長が解任され、終了しました。

●母校学生との「交流会」

今年は、母校「自由工房」の学生、三村君、高橋君、上間君の3名が参加。自己紹介、日頃の活動紹介、参加大会での成績報告、OBに協力、支援してほしい事などをパワーポイントで発表。途中、南茂夫元学長の自由工房発足のお話があり、学生たちの活動を肌で感じる事が出来、喜んでおられました。また自由工房の創設の一人、竹本先生も学生の活動報告に興奮し、飛び入りで学生たちに熱い思いを語られました。

その後、マイコンカーラリーの実演も行われ、技術的な質問、大阪電気通





あいさつする 乾杯のご発声 南先生
段安支部長



懇親会の光景

信大学を選んだ理由など質問がOBからあり、和やかな雰囲気の中、学生との交流が行われました。

また、学生達の願いとして大学側へ、自由工房の活動テーマが増え、マイコンカーラーのコース作り等のスペースが取れなくなってきているので増設をお願いしたい事と、OBには、大会に出るための予算があまりないので参加したい大会に出られない場合があるので、支援をしてほしいとあり、京都支部も友電会本部に働きかけ支援を要請したいと締め括った。

●和やかな雰囲気「懇親会」

南茂夫名誉教授の「乾杯」のご発声で、懇親会がスタートしました。



「ザ・ブルーサンダーボーイズ」

北関東支部が 「平成29年度総会・ 懇親会」開催

好天に恵まれた秋の一日、気温も比較的涼しく、見学場所への移動におきましても、汗は殆んどかかない、それほど暑くもなく、活動しやすい好天に恵まれました。今年も例年の如く文化活動の一環として、水墨画の最高峰「橋本雅邦」画伯の作品を展示している山崎美術館を見学しました。その前にこの美術館を設立した方が代々老舗の菓子舗を営んでおられ、その製造に使われた、「押し型」(主として落雁用かと思いますが)や、その他の商売道具が展示されていました。極めてレベルの高い日本が世界に誇る職人技です(3Dプリンターで?、当方とは見解の異なる意見も有りましたが)。偶には当時使われていたであろう、大型金庫が鎮座していました。

その後、一番奥の展示室で、橋本雅邦画伯の作品を見学しました。併せて



総会会場での記念写真

お互いテーブルを回りお酒を酌み交わし、学生との交流も積極的にOBから話しかけ終始和やかに懇親会は進み恒例のミニコンサートで母校OBの3人組「ザ・ブルーサンダーボーイズ」による「フォークソング&カントリーライブ」を楽しませてくれました。「ザ・ブルー



「山崎美術館」の前で記念写真別の作者の掛け軸も展示されており、それらの作品に圧倒されました。橋本画伯は東京美術学校(現東京芸術大学)の日本画の主任教授であり、その教え子に、横山大観、下村観山、菱田春草(卒業期は異なるそうです)等を輩出し、門下生として後に、日本画壇の泰斗となった川井玉堂を世に送り出しています。

以前の見学会には見られなかった、見学の最後に「お茶とお茶菓子の最中」が出ました。美術館の設立者は菓子製造で財を成した方であり お味もなかなかのものでした。

見学会の後は、場所を移して懇親会場の大浴場で汗を流してから、「今年度の北関東支部の総会」を開催して、滞りなく議事を承認致しました。特に今回は役員の一員に21期の若手を抜擢いたしました。又今回は初参加の方が、2名おられ、今後初参加者の発掘が必要かと思えます。この後お楽しみのお懇親会に移り、友電会福田会長からのご挨拶をはじめとして、参加の近況報告に時を忘れて盛り上がりました。そして最後に次回の再会を約して、お開きとなりました。

サンダーボーイズ」とはメンバーは吉岡睦(E05)(ハーモニカ)、山口朝弘(F05)(ギター)、下野哲生(H09)(ギター)の3氏。

最後に母校校歌が演奏されると全員立ち上がり、肩を組み校歌を歌い京都支部総会は閉会されました。

■支部だより

友電会奈良支部(松井俊樹(113)支部長)は、11月26日(日)に奈良市三条町のホテル「フジタ奈良」で「平成29年度総会・懇親会」を開催しました。奈良県在住の会友を中心に近隣の府県などから23名が出席し、親交を深めました。総会に先立って奈良の伝統工芸である『墨』の工房「錦光園」(きんこうえん)で、「にぎり墨」を体験、参加者からは「素晴らしい経験をした」と好評でした。



「にぎり墨」の製作中の参加者

■「奈良支部総会」の集合記念写真は「表紙3ページ」に掲載しています。

奈良支部「平成29年度総会・懇親会」開催

●「にぎり墨」体験

午前11時にJR奈良駅東口に集合し、駅から徒歩3分の「錦光園」に到着。

玄関先で記念撮影の後、「墨づくり」の作業場へ。同園の「墨延」である長野佳晃さん(70)が対応してくれました。

「奈良に『墨』が中国から入ってきたのは西暦610年ころ」と、墨の歴史についての説明がありました。

「昔は学校で墨を使った『書道』という科目がありましたが、現在は『書写』と呼ばれ、『墨汁』が使用されています」との事です。

墨の原料は、「松煙」といって赤松と黒松があるが、7割まで赤松との事。また「油煙」は、①ゴマ油、②ナタネ油、③ツバキ油の順で多いです。これらは植物ですが、鉱物としてカーボンがあ

るそうです。

香料としては「ショウノウ」が多く使用されているとの事です。

墨は「松煙」などのスス、香料、ニカワをまぜて製作します。1日に400個ほど作り乾燥には4カ月ほどかかるそうです。

乾燥させると、形を整えた時よりも8割ほど小さくなってしまふとの事です。

さて、いよいよ「にぎり墨」の製作。棒状の墨が渡され、これを「にぎる」ことにより製作します。

長野さんの指示で、次々と棒状の「墨」をにぎり、出来ばえによって「合格」、「不合格」が言い渡され、「不合格」はもう一度、にぎり直しです。

不合格者は参加した18名のうち5名にのぼり、そのたびにヤジや笑いが飛



①「にぎり墨」

②『墨』について説明する「錦光園」の長野佳晃さん(70)



びかっていました。

帰りに、長さ14cm、幅5cmの桐箱に入れられた、世界に1つしかない「にぎり墨」を土産に、「総会」会場へと向いました。約1時間にわたり伝統工芸の『墨』にふれることができました。

●「支部総会」

総会は、「錦光園」から徒歩5分のと





司会の山崎敏之 (F14)
奈良支部副会長

あいさつする松井俊樹 (I13) 支部長



議長の細川雅巳 (I14) 氏 (奈良支部幹事)

あいさつする廣谷明 (F12) 友電会副会長 (母校の法人理事)



総会・懇親会の光景

ころにあるホテル「フジタ奈良」の1階のホールで開催されました。総会から参加の5名を加え、23名が出席。

山崎敏之 (F14) 副支部長の司会で、議長に細川雅巳 (I14) 氏 (奈良支部幹事) を選出して開催されました。

「平成28年度活動・決算報告」と「平成29年度活動報告・予算」の議案について、松井支部長が説明報告しました。

「平成28年度監査報告」として、堀内貞夫 (G05) 支部監事が「平成28年度会計監査の結果、適正に執行されていることを認めます」と報告。

支部活動の方針として松井支部長は、「会員相互の親睦と研修を図り、他の支部との交流を図ろう」とし、全力で取り組んでいくと力強く宣言しました。

なお、支部役員は次の通り。

- ・支部長 松井俊樹 (I13) ・副支部長 山崎敏之 (F14) ・幹事 金谷武美 (F06) 会計担当 ・同 北森弘樹 (E04) ・同 辻佳彦 (H13) ・同 吉岡睦 (E06) ・同 細川正巳 (I14) ・同 吉田祐三

(F06) ・ 監事 堀内定夫 (G05) ・ 同 津本正章 (H14) ・ 顧問 中尾政一 母校名誉教授

●「懇親会」

「懇親会」は同じ会場で山崎副支部長の司会で開かれました。

まず初めに松井支部長があいさつに立ち、「奈良支部も平成29年度で創設24年目を迎えます」とし、資料に「奈良支部の歴史」を掲載しているが、充実した活動を展開してきました。「今後も会員相互の親睦と研修を中心に、他の支部との交流を図っていき、共に活性化するようにしていきたい」と語りました。

続いて福田武 (E02) 友電会会長の代行として廣谷明 (F12) 友電会副会長 (母校の法人理事) は、「友電会では現在、一般社団法人へと法人化の準備を進めています。来年度には実現する予定です」と述べ、「母校は大学が60周年、高校が70周年、学園が80周年を迎えます。これを機に母校がますます発展するように協力をお願いします」と協力を要請しました。

「乾杯」の音頭は、友電会の岡本清孝 (H11) 副会長。発声に応じて出席者全員が「乾杯」し、懇親会に入りました。宴もたけなわの中で、あいさつがありました。

友電会組織部の志村哲樹 (F07) 部会

長、滋賀支部から出席の山口朝弘 (F05) 氏、大阪支部の平岡臨 (I07) 支部長、奈良支部長老の石本時堯 (E03) 氏、母校の法人評議員の辻佳彦 (H13) 奈良支部幹事などが、それぞれの立場から話されていました。

なお、懇親会が始まる前に、金谷武美 (F06) 奈良支部幹事から「来年度の総会では、『60歳』の会友を招待するなどし、総会そのものを魅力あるものにしていきたい。それによって参加者が増えればと思っています」との提案がありました。

続いて、恒例の「ビンゴゲーム」。今回の商品は「宝くじ」。最初の「ビンゴ」には、5枚も入っていました。

宴が盛り上がっている中で、時間がせまり、全員で母校の「大学歌」を声高らかに歌い上げ、全員で記念写真を撮影して、「来年度の支部総会での再会」を約し、散会しました。



母校の「大学歌」を斉唱



㊤記念講演会の光景

㊦大石利光学長の記念講演会

■「東海総支部総会」の集合記念写真は「表紙3ページ」に掲載しています。

東海総支部「平成29年度総会・懇親会」開催

友電会東海総支部は「平成29年度総会・懇親会」を平成29年6月3日（土）13時30分からJR名古屋駅東側に位置する「名鉄グランドホテル」で開催しました。

学校法人から成瀬理事長、寺西法人事務局長、千松総務部長、大平財務部長、大学から大石学長、南角就職部長、そして友電会から福田会長、柴垣事務局長をはじめ、副会長さらに関東総支部、びわこ支部、京都支部、奈良支部、大阪支部、神戸支部から20名、東海総支部会員から13名の総勢39名が出席し盛大に開催することが出来ました。

また、今回は東海総支部会員の中で4名の方に初参加して頂き、有意義な総会・懇親会となりました。

総会は榊原秀之氏（F13）の司会で始まり、志村哲樹支部長（F07）の挨拶の後、鈴木直彦氏（F04）の議長選出で1号議案から3号議案の平成26年度事業報告・会計報告及び平成27年度事業計画・予算案および4号議案の平成27年度東海総支部役員案が審議され、満場一致で可決されました。

昨年関東から三重県に移住された辻勝久氏（E04）が新役員として承認され挨拶を頂きました。

総会終了後、記念講演会を行い大石利光学長から「大学の継続的な発展に

むけて」～第1次5ヵ年計画達成に向けた大学の取り組み～をテーマにご講演頂きました。

関西圏への大学進学人数は年々減少し、2020年にEゾーン大学の50%は定員割れ、2026年にはEゾーン大学は存続不可、2036年にはDゾーン大学の50%が定員割れとなる危機的な状況になることが予想される。

従って、電通大は実学教育で「人間力」と「技術力」を培う大学を目指し、社会で主体的に活躍出来る人材を育成するために法人と大学、寝屋川キャンパスと四條畷キャンパスがベクトルを合せ一体となって活動を開始しました。

学生に資格を取得させたり、学科を新設する等手を打ち始めており、結果

として就職求人企業数や求人倍率が増加傾向に有り成果が出始めているとのことで、「将来が期待される内容」の講演でした。

大石学長先生にご講演頂いた後は、「The Blue Thunder Boys」の演奏会で楽しいひと時を過ごしました。

メンバーはびわこ支部の山口朝弘氏（F05）、奈良支部の吉岡睦氏（E06）、京都支部の下野哲生氏（H09）で、このメンバーで結成3年を迎え、昨年は老人ホーム等で年間36回も演奏会を行ったそうです。

演奏会の後、会場を移して、お待ちかねの懇親会が始まりました。

先ず最初に志村哲樹支部長（F07）の挨拶の後、来賓代表として法人から理事長の成瀬淳様、大学から学長の大石



平成 29 年度 「東海総支部研修会」



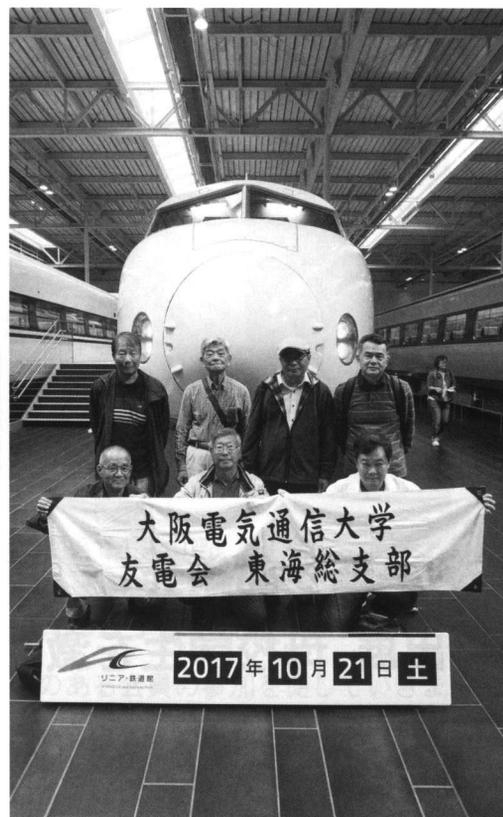
今年度の研修会は平成29年10月21日(土)に、2027年東京-名古屋間を最速40分で結ぶリニア中央新幹線の開業を計画しているJR東海が2011年3月14日に愛知県名古屋市港区金城ふ頭にオープンした「リニア・鉄道館」を見学しました。

鉄道の発展と共に歩んだ自らの人生と重ね合わせ、過去を懐かしみ幼少期・青春・現在と成長してきた自分と進化を続ける鉄道の姿を同化させ、力をみなぎらせることも、明日の鉄道と来るべく将来を連想させ、それぞれの世代を魅了する鉄道の歴史を学びました。

参加者は伊藤慎吾(E01)、鈴木直彦(F04)、桑原孝雄(F05)、志村哲樹(F07)、山下友彦(J15)、宮條研次(F15)、藤田英治(E22)の7名でした。

また、大学歌の前に京都支部の藤原氏のリクエストに「The Blue Thunder Boys」が応えて1曲ご披露頂いた後、今回初参加の静岡県在住で応援団出身の古本賢二氏(K36)の演舞で大学歌を全員で斉唱しました。その後、大阪電気通信大学の発展を記念するエールを披露して頂きました。

最後に4代目支部長の野田哲治氏(F03)の一本締めの後、全員で記念撮影をして閉会しました。



午前11時にJR名古屋駅に集合し、皆で昼食を取ってから「あおなみ線」で名古屋駅から約30分の金城ふ頭駅で下車徒歩2分で到着です。当日は台風21号の影響で雨でしたが、駅からリニア・鉄道館までの道路に屋根が設置されており傘をささずに済みました。

リニア・鉄道館は東海道新幹線を中心に、在来線から超伝導リニアまで39両の実物車両や模型やパネル等、実物を使って鉄道のしくみや歴史など、高速鉄道技術の進歩を吹き抜ける大空間で紹介しており、楽しく理解する事が出来ました。



素晴らしい演奏とハーモニーの「The Blue Thunder Boys」の皆さん



あいさつする
成瀬淳理事長

あいさつする
福田友電会会長



あいさつする
志村支部長

議長の井原氏



野村氏による乾杯の音頭

利光様、友電会からは会長の福田武様(E02)からご挨拶を頂きました。

乾杯は前支部長の野村康明氏(E01)の音頭で行われ懇親会が始まりました。

暫く歓談の後、法人事務局長寺西正光様のご挨拶と総務部長の千松哲也様、財務部部長の大平正敏様のご紹介を頂き、大学の就職部長の南角茂樹様、友電会からは事務局長の柴垣佳明様(D33)、副会長を代表して廣谷明様(F12)からご挨拶を頂きました。

そして、友電会本部や他の支部から出席して頂いた支部長や副支部長の方々からスピーチを頂きました。

また、東海総支部の会員で今回総会に初参加して頂いた方4名にも一言スピーチをお願いしました。

楽しい会は時間が経つのが早いもので全員で大学歌を合唱する時間となり



「東京ゲームショー」会場の母校の展示ブース



「千葉支部総会」・「東京ゲームショーに出展 母校学生を激励する会」開かれる

友電会・千葉支部(神山清明 (H15) 支部長)は平成29年9月23日(土・祝日)午後6時から千葉市の「ホテルスプリングス幕張」のパフェ会場で、「平成29年度千葉支部総会・懇親会」を開催しました。同会は「東京ゲームショー」に出展した大阪電気通信大学生を激励する会」を兼ねて開かれたもので、51名が参加し学生(24名参加)を激励しました。

●「平成29年度千葉支部総会」

千葉支部は昨年度総会を開催しておらず、前支部長が退任しており、新役員を選出しました。

支部長・神山清明(H15)、副支部長・坂本充(H21)、監事・尾方康祐(F5)の3氏。

活動の中心は「千葉地域の勤務者や居住者の発掘を図り、今後会員数を増やし活動の活発化に努力していく」としており、全議案が満場一致で承認されました。

●「学生の激励会」

友電会会員の参加者は、「総会・激励会」前に、「東京ゲームショー」の展示会場を見学。展示会場では教職員や学生と交流するとともに、ゲームを実体験しました。友電会会員と学生が同じテーブルに着き、お酒が入り食事が進むにつれ、会員が各テーブルをまわるなどして、親交を深めることが出来ました。



「千葉支部総会・懇親会」、「母校学生の激励会」会場であいさつする福田武(E02)友電会会長

バイキング形式のパーティーで、学生と懇談をすることが出来ました。学生も積極的に質問をし、「就職活動の参考になった」という声も聞かれました。OBとの年齢差は大きいですが、学生は、これまで何をやって来たかに興味があったようです。

先生方は、友電会の存在やゲームショーに出展している情報が末端まで知られていないことを話し、今後の情報交換の参考になりました。また、在京のOBへの連絡は、研究室経由が良いと教えられるなど、おおいに勉強になりました。

友電会では前例のない会合で、先生方はもとより学生にも喜んでもらうなど、終了時間がオーバーするほど話が盛り上がっていました。

「東京ゲームショー」は、毎年開催されており、友電会活動の一環として今後も継続していくことにしています。

(千葉支部長 神山清明・記)



「東京ゲームショー」会場で

(参加者)

- ・母校デジタル学科関係者
教職員 5名
大学生等 24名
- ・母校デジタル学科卒業生 3名
- ・友電会関係者
福田友電会会長他本
部役員、関東総支部
関係者並びに友電
会会員
有志 19名
- ・参加者合計 51名



あいさつする
塩田新支部長



あいさつする
福田友電会会長



平成29年度10月15日(日) 茨城支部総会/親睦会 於：牛久シャトーカミヤ

茨城支部総会集合写真（仕事の関係で1人中座）

友電会茨城支部(塩田善裕(H12)支部長)は「平成29年度総会・懇親会」を、平成29年10月15日(日) 正午から茨城県牛久市の「牛久シャトーカミヤ」で開催しました。総会では新支部長に塩田善裕(H12)氏を選出しました。今年、あいにく秋雨前線のいたずらか雨降りになり、足元が悪い中での開催となりました。

雨にも負けず、友電会本部より福田武(E02)友電会会長、志村哲樹(F07)理事・組織部会長が参加、2期卒から49期卒の幅広い年代の会友、関東地域からの参加者を含め、総勢19名の参加がありました。

出席エントリーは21人でしたが、天候不順などから2人の不参加があったものの、総会議事に続く懇親会で大変有意義な一日となりました。

JR常磐線牛久駅に集合する遠方からの会友と地元近くで直接会場に集合する会友が、会場「牛久シャトーカミヤ」に集まりました。初めて参加の会友や久しぶりに会う会友との出会いの交歓の場となりました。

予定していた「牛久シャトーカミ



乾杯音頭をとる
深野隆司(109)関東総支部長

「平成29年度茨城支部総会・見学会・懇親会」

ヤ」内の国指定重要文化財で旧ワイン醸酵室の「神谷傳兵衛記念館」や「オエノンミュージアム」などの施設見学やブドウ畑など庭園の自由散策は天候不順で急遽とりやめました。

●「茨城支部29年度総会」

出会いの交歓が盛り上がったところで予定より少し早く、「茨城支部29年度総会」を開催しました。議事進行は木村功一(E09)支部長が 仕事の都合で欠席の為、幹事の吉田栄治(F02)氏が務めることを全会一致で承認されました。

- 1、平成28年度事業報告及び決算
- 2、平成29年度事業計画及び予算
- 3、支部役員を選任

(支部長：塩田善裕(H12)、副支部長：吉田栄治(F02)、監事：大塚敏兼(E01))

席上、新支部長候補の塩田氏は自己紹介のあと、「友電会茨城支部活性化のために努力していきます。会員相互の親睦はもとより、多くの茨城に関わ

(左) 岡田(F37)様
(介護施設長・仕事都合で中座された)



りのある会員の参加を促していきます」と語りました。

なお、木村前支部長からは「海外出張が頻発し友電会活動に時間が取れない」とのことで、「辞任届」が提出されていました。

上記議案を報告し審議、付帯事項として、「茨城支部会員人数の把握と支部総会参加人数の拡大を図り、支部活動の活性化と継続が大事である」との活動方針を含め全会一致で承認されました。

●「懇親会」

懇親会は塩田新支部長や福田友電会会長などのあいさつに引き続き、深野隆司(109)関東総支部長の乾杯の音頭でパーティーの開宴です。

近況報告や茨城支部の今後、友電会や母校のことなどの話題沸騰していました。

交流・親睦が深まり、記念写真撮影後に、来年度の茨城支部総会・懇親会での再会を約し、散会しました。

(左) 川口(F04)事業部会長
別れを惜しんで…!





集合記念写真

三田支部「平成29年度総会・懇親会」開催

- ・日 時
平成29年5月28日（日）
PM1:30～PM4:30
- ・場 所
しい茸園有馬富士「山荘かえで」

友電会三田支部（小西巖（E02）支部長）は、平成29年5月28日（日）に例年通り兵庫県三田市のしい茸園有馬富士「山荘かえで」にて「平成29年度総会・懇親会」を開催しました。曇り雨模様であった予報が一転、皆様のおかげで快晴にめぐまれ、楽しく過ごさせて頂きました。

●平成29年度総会

総会は午後1時30分定刻に神楽岡功（I02）副支部長の司会で始まりしました。

議長に薬井安二（I10）氏を選出し、平成28年度活動報告（小西支部長）、同年収支決算報告（楠喬夫（H06）幹事）、会計監査報告（松本健司（K24）監査）とすすみました。

平成29年度事業計画を小西支部長が、本年7月9日（日）神戸支部共催での「ボウリング大会」、9月24日（日）「きのこ観察会」、翌年2月4日（日）「交流会」。その他神戸支部主催のハイキ

ング・釣り等々への参加及び役員会開催予定の報告をしました。

同年予算案を楠会計担当幹事より本年から採用の統一フォーマットにて報告、役員紹介後審議され、出席者全員の拍手で承認され総会は終了致しました。

●講習会

講習会は、昨年に引き続き第2弾として「電子回路でアクセサリをつくってみよう！！」がテーマで、松本監査の講師のもとはじまりました。

特殊なインクペンを使用し、インクジェット用紙にフリーハンドで線描をする様子は全く同じですが、アクセサリの宝飾部分に「LED」を施しペンダントにしたり足元や胸元に装飾して光らせて楽しみました。

グラスコップに入れて卓上に飾りし



しい茸狩りを行う参加者



活動報告を行う小西支部長



議長の薬井氏



司会の神楽岡副支部長

LEDが点灯されると歓声もあがり、子供も大人も「電子回路制作」と肩肘をはらずにみんなで工作を楽しめたようです。

●しい茸狩り

バーベキューによる懇親会の前に、これもお楽しみ。カゴ一杯にどれだけ効率よくたくさん詰められるかが、腕



懇親会の光景



あいさつする福田会長

の見せ所です。童心に帰って皆さん「しい茸狩り」を楽しみました。

●懇親会・ビンゴゲーム

神楽岡副支部長の司会で懇親会が開始され、最初に福田武 (E02) 友電会会長より、「三田支部は、家族の皆さんと一緒に楽しんでいるとのウワサ通り、非常にいい雰囲気で作って頂き敬意と感謝を申し上げたい。友電会会員も本年卒業生を含め5万人を超えました。大きく膨れ上がったので、ここでしっかり法のもとで管理しようと法人化を進めております。どうぞご支援ご協力をお願いいたします。今日はおおいに楽しみましょう」とあいさつ。

次いで志村哲樹 (F07) 組織部会長より「ここはいつもお子様づれで家族



完成したアクセサリ



電子回路でアクセサリを作成する参加者



あいさつする志村組織部会長

的な雰囲気、よその総会ではどこにもありません。先ほど会長より法人化のお話がありましたが、法のもと組織という社会的に地位が確立するようになりたいのですが、基本的には同窓会組織として和気あいあいも、法人化でのお金の管理も説明を重ねてまいります。本日は三田支部総会おめでとうございます」とあいさつ。

澤居比佐夫 (H17) びわこ支部長の「近畿の支部は兄弟のようなもの、しっかり交流をしていきたい。三田支部の発展を祈念して」乾杯の音頭で懇親会のバーベキューとビンゴゲームへ。

今年の景品は、合鴨耕法での希少価値のある三田米が目玉で、楠幹事と澤居びわこ支部長がめでたく一位と二位でビンゴ。数字が読まれる度にリーチの声、ビンゴと共に三田産タケノコをはじめハクサイ・だいこん・母子茶等々が消えていき時間が過ぎ去っていききました。小西支部長の挨拶で締めくくり、しい茸ごはんを手土産に、集合写真を幸村常一 (H16) 神戸支部長に撮ってもらい散会いたしました。



講習会の松本講師 (監査)

神戸支部

「平成29年度 総会・懇親会」



■「神戸支部総会」の集合写真は「表紙3ページ」に掲載しています

友電会神戸支部(幸村常一(H16)支部長)は、平成29年4月23日、神戸三宮「東急REIホテル」にて『平成29年度 友電会神戸支部総会・懇親会』を開催しました。

母校副学長の森幸治氏による講演『大阪電気通信大学の近況について』を聴講し、現在の大学の状況等を伺いました。

また、ジャズ歌手、リザさんによるミニコンサートも披露されました。

総会終了後は神戸支部恒例の親睦会(2次会)を居酒屋『ふくふく』にて行いました。

そのあと、有志により『スターライト』にて3次会を行い盛り上がりしました。

〈平成29年度神戸支部開催記録〉

- ・第1号議案
平成28年度実施事業報告
平成28年度収支決算報告書
- ・第2号議案：
平成29年度事業計画書
平成29年度収支予算案
上記議案を満場一致で承認されました。



JAXA相模原キャンパス「左側 M-Vロケット実機模型」
「右側 M-3SIIロケット原寸模型」の前で記念撮影

神奈川支部「平成29年度 総会・研修会・懇親会」開催

友電会神奈川支部は「平成29年度総会・研修会・懇親会」を平成29年6月10日（土）、14:10から相模原市立博物館大会議室において開催されました。

参加者は、神奈川支部会員の他、関東各支部会員及び友電会副会長、組織部会長の参加を得て、第1期生から第37期生までの20名でした。

平成28年度事業報告、決算等の報告に引き続き、平成29年度事業計画及び予算について報告し承認されました。

なお、東京支部の設立準備のため監査役の中野氏（E05）が退任することになったため、沖 洋一氏（I15期）へお願いすることとされました。

総会の前後に、宇宙科学研究所（JAXA）相模原キャンパス、相模原博物館の研修を行いました。JAXAにおいては、宇宙事業の黎明期からはやぶさの偉業までの歴史を身近に見聞することができました。また、博物館ではさらに宇宙開発技術の記録映画をプラネタリウムで見学しました。

プラネタリウム見学は研修の最後のイベントであったので、疲れによる合唱（いびき）が気になりましたが、この懸念は幸い杞憂に終わりました。

この研修の後、小田急相模原駅前に移動し、懇親会を開催しました。

ここでは、昼間の疲れはどこに行ったのやら、参加者の年齢を忘れるぐら



懇親会の光景

い盛り上がりました。

昼間の宇宙談議から、本当にタイムマシンはありそうな気持ちをもった人、若返ったつもりになったのも、私一人ではないようです。

話題は、自慢話や、苦労話の中にも同窓会の在り方についての議論ありと期待以上の盛り上がりが見られました。

幹事は、お酒の追加による予算の心配と会員の皆さんが遠路、この時ばかりは「関東は広いな～」と真面目顔で心配そうにしていました。

参加者全員が、無事帰宅できるかどうか、気が休まりませんでした。幸い、会員全員無事帰宅されたようです。（後日談）



相模原市立博物館天文展示室見学



びわこ支部 総会・懇親会



澤居比佐夫支部長のあいさつ

友電会びわこ支部(澤居比佐夫支部長、H17)は、平成29年度総会・懇親会を7月29日(土)、びわこの東部、豊郷町において開催しました。

滋賀県は、江戸と京都を結ぶ交通の要所で旧中山道が通る情報と物が行き交う正に商売を育んだ土地、今日の日本経済の基礎を築いた先達の知恵を学ぶ機会となりました。大学からの森幸治副学長や南角茂樹先生など来賓者を含めて、35名が集まりました。

◇総会

総会は西川達也氏(M41)の司会で進行しました。澤居比佐夫支部長により、平成28年度事業報告と決算報告、平成29年度の事業計画案および予算案の提案があり、承認されました。また、びわこ支部は近隣の支部や本事業との連携を大切な方針としており、一層力をつぎ込みたいとあいさつしました。

◇演奏会

今回は、おなじみの友電会OBバンド



先人のロマンに聞き耳をたてた又十屋敷

■「びわこ支部総会」の集合記念写真は「表紙3ページ」に掲載しています。

「時代を切り拓いた先達・ 近江商人のルーツ探訪」

で、びわこ支部の山口朝弘氏(F05)や下野哲生氏(京都支部)吉岡睦氏(奈良支部)に新たなメンバーとして梅本栄司氏(I07)が率いるカントリーバンド、テキサス・サウンズが参加し、酒蔵の麴の香りと賑やかな演奏に酔いしれました。

◇懇親会

懇親会は、彦根の地酒で安政元年創業の造り酒屋にて行いました。母校副学長の森幸治先生、南角茂樹教授、友電会会長の代理で岡本清孝氏などの挨拶を承り、宴が始められました。

豊かな自然に育まれた近江米や鈴鹿山系の清流で作られた日本酒の新しい飲み方を若い杜氏の当主から説明を聴



あいさつする森幸治副学長

き、爽やかな飲み口についつい量を忘れて飲みすぎた人が多かったようです。

東から西から全国各地よりお集まりいただいた皆さまと閉会の時間を忘れるほどに、さまざまな話題で賑やかなひとときを過ごすことができました。

ここに、改めてお礼申しあげますとともに、次回の総会・懇親会での再会を楽しみにしています。ありがとうございました。



カントリーバンドの「テキサス・サウンズ」



集合記念写真

ワンダーフォーゲル部OB会 「第11回上高地キャンプ」

体育会ワンダーフォーゲル部OB会は、2017年8月5～6日の1泊2日で長野県松本市の上高地小梨平キャンプ場で「上高地キャンプ」を開催し、26名の出席者が上高地の素晴らしい景観と澄み切った空気を満喫しました。

一日目の8月5日午後5時前には関西・関東地域を中心にワンゲル部OBと他参加者およびそのご家族の皆さんの総勢26名が集合。中には山好きの羽瀧完俊氏(E01、元友電会会長)や福田武氏(E02、友電会会長)ご夫妻のお姿も。

午後5時すぎから「開村式」と夕食。猿渡洋 上高地キャンプ実行委員長(F02、元友電会会長)「今年もここ上高地小梨平キャンプ場で上高地キャンプを開催でき本当にうれしい。今年は第11回目を迎えることができましたが、今まで参加頂いた皆さんのおかげで継続でき、感謝申し上げます。」と喜びを語りました。引続き参加者全員による自己紹介と近況報告で、学生時代でのワンダーフォーゲル部での思い出など次々に懐かしい話が飛びだしまし

た。

●夕食

夕食会は午後6時30分からのスタート。「1、2、3、4(いっと、にっと、さんっと、しっと)、5(ご)飯だ、ご飯だ、さあ食べよう。風はさわやか心も軽く、誰も元気だ感謝して、楽しいご飯だ、さあ食べよう!!!」と「ご飯の歌」を合唱して「いただきますう～!!!」で夕食開始。

今回のメニューも恒例の「カレーライス」にトマトなどのサラダ。加えて参加者差し入れのビール・焼酎・ウイスキー・ワインを片手に時間の経過を忘れました。暗くなりかけた頃に大粒の雨で急遽バンガローの中へ全員が移動し、恒例の「山の歌の会」の始まり。「ワンダーフォーゲルの歌、アルプス1万尺、エーデルワイスの歌、山男の歌」など、次々と歌が飛び出し参加者はワンゲル部OB会の雰囲気を楽しみ、小梨平キャンプ場は全員の歌声に包まれましたが、バンガローは午後10時に消灯。



開村式であいさつする
猿渡洋 上高地キャンプ実行委員長

●2日目

翌2日目は5時すぎにはバンガローの外に出て上高地で一番贅沢な早朝の冷気を身体と心で存分に楽しみ、また希望者は6時過ぎからの河童橋界隈を1時間強かけて朝の散策に出かけました。午前8時から朝食と「閉村式」。再び「ご飯だ ごはんだ」を合唱し、ご飯に味噌汁とトマトなどのサラダ・漬物をいただきました。閉村式では2年後の「上高地キャンプでの再会」を誓い、記念写真のあとそれぞれの帰路につきました。

また、2年前の焼岳登頂に続き今年には有志7名で前穂高岳登頂のため河童橋を12時に出発。パーティーは午後4時には岳沢小屋に到着しました。ただ台風5号の影響で天候悪化が予想されることから5名は翌日の朝食後の下山となりましたが、坂口雅氏(E09、ワンゲル部OB会会長)と宮條研次氏(F15)の2名は頂上登はん成功し、当日午後5時には7人全員が上高地に無事帰還しました。



夕食の前の恒例「ご飯の歌」を全員で斉唱



恒例の「山の歌の会」の始まり



岳沢小屋に向けて出発前(河童橋にて)



懇親会場にて記念撮影



生き生きと演奏や会話を楽しむOBの皆さん

軽音楽部 「OB会」開催

大阪電気通信大学軽音楽部OB会は平成29年7月8日(土)に「OB会」を母校寝屋川学舎Z号館3階カフェテリアで開催しました。

今回は、13名の参加で、はじめに物故者へ黙とうをささげた後、前年度会計報告、そして会則の会員条項の追加や幹事役員の全員再任などが議決されました。

その後、現在も尚、色々なジャンルで活躍されているOB・OGの、皆様方の近況の紹介やホームページなどの有効利用が話し合われました。

懇親会では、持ち込んだ楽器を使い、今尚現役で演奏活動をしているOB各位が、即席のカントリー・ブルースバンドやモダンジャズバンドを組まれ素晴らしい演奏を披露され大いに盛り上がりました。

11月の「ホームカミングデー」にて演奏の機会があれば良いなどの意見も多く出ました。

今昔を語り合い、ますます親交を深め合うことができた「OB会」となりました。

●お願い

軽音楽部に在籍されたことのあるOB・OGの方は、是非とも右記メールアドレスまでお知らせください。



懇親会の様子

合わせて定演のパンフや写真等をお持ちの方もご連絡ください。

よろしくお願い申し上げます。

メール

oeukeionob@yahoo.co.jp

軽音楽部OB会宛てまで。

ご連絡お待ちいたしております。

「ワンゲル部 OB会総会」開く

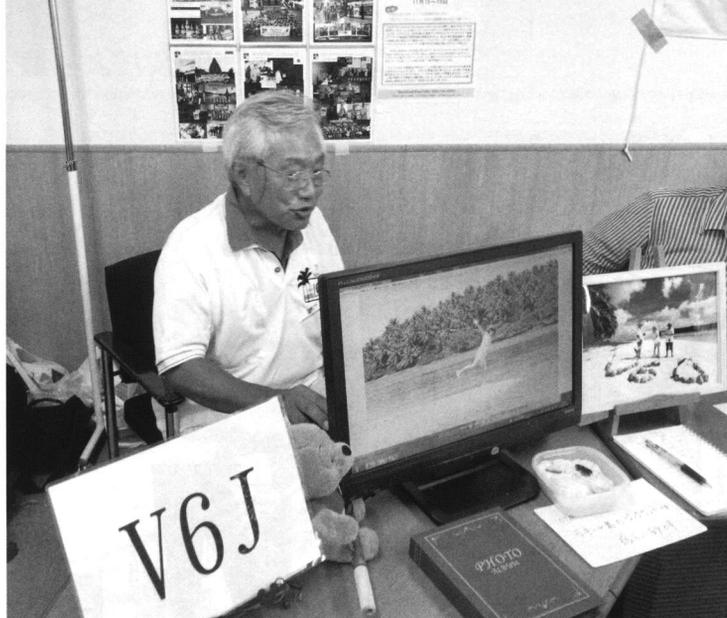
ワンダーフォーゲル部OB会(坂口雅(E09)会長)は平成29年11月4日(土)午後3時から、母校・寝屋川キャンパスJ号館5階で「OB会総会」を開催しました。関西地域はもとより関東地域などから29名が出席、大いに盛り上がりました。なお、当日は母校の大学祭期間中で、「ホームカミングデー2017」も開かれ、学内は大変な賑わいでした。

総会は午後3時に開幕し、平成29年8月5～6日に長野県松本市の上高地小梨平キャンプ場で開催した「上高地キャンプ」などの報告などがありました。

この後、母校・寝屋川キャンパスJ号館3階の学生ホールで行われた「ホームカミングデー2017」の懇親会に参加、杯を傾けながら学生時代のワンゲル



ル活動などの思い出話しや今後の計画などについて話題になり、盛り上がっていました。



「JA3YBF」無線通信技術部OB会

大阪電気通信大学無線通信技術部「JA3YBF」OB会は、平成29年7月15日(土)、大阪府池田市の池田市民文化会館 小会議室1にて、10名が出席して15時～17時まで開催致しました。

同クラブは、国内は元より、海外からも大変有名なクラブでしたので、当時、全世界を相手に戦った方々がお集まりになりました。

笑い話を入れながら自己紹介が始まり、現在の無線活動、ご職業等を簡単に全員お話しされた後、当時の「JA3YBF」の昔話で、無線コンテストでCW交信(トン・ツー)をしながら、無線機を向かずに隣の人と普通に会話したという「神業」の話や、近年の無線機の技術的な向上の内容、データ通信内容など、時間が足りない程会話が盛り上がりました。

また、YBF所属ではないのですが、軽音楽部所属で、コンテストその他の時に応援に、また、現在では無線雑誌「HAM worldw vol.7」の、スパイダービーム



アンテナの記事を書かれた、田原廣氏(JA3HBF)のご紹介がありました。

その後、アマチュア無線機器の「新スプリアス規格」の簡単な勉強会をし、昔の無線機が今後使用できない内容など、ご出席された方々は真剣に内容を聞かれておりました。

今回、同室にはご出席されませんが、隣の部屋で、海外(北西太平洋 モキル環礁(Mokil))に於いてV6Jのコールサインで海外運用をされて、世界的に有名なOBの方もおりました。

●順不同・敬称略(コールサイン)
(卒業年度は自己申告です)

土井 哲夫	JA3LCR	9期卒
平松 隆	JA3OLO	11期卒
吉村 義則	JA3WPI	12期卒
武森 一夫	JA3RQJ	10期卒
伏水五穂治	JA3EBT	7期卒
森田 英夫	JA3KGF	8期卒
福谷 豊	JA3RDH	11期卒
榎本 幹夫	JN3XKZ	10期卒
	(JH3GNK)	
伊吹 吉史	JF4FUF	27期卒
武田 良夫	JF3KJK	8期卒
	(JAOCDC)	

(別室)

平林 歳章 JA3FGJ 8期卒(V6J)
「JA3YBF」のOBで、近況報告などがございましたら、「JA3OLO」平松隆氏までご連絡お願い致します。

「ja3olo @ ja3.net」まで。
(スパムメール対策として@の間を広げています。)

池田市民文化会館は、毎年「関西アマチュア無線フェスティバル」として2日間開催されており、OB会も同時開催致しております。次年度「OB会」については、開催日時は未定です。

会の最後に、ご出席されたOBの方々の記念撮影をし、解散と致しました。

(文書・記事 事務局 JG3WCU 川崎)



「2017年度（第39回）
海外教育研修制度 結団式」

平成30年2月16日（金）、寝屋川キャンパスで「2017年度海外教育研修制度結団式」を開催しました。39回目を迎える今年度の海外教育研修制度には24人の学生が参加し、2月24日（土）から3月25日（日）までの約1ヶ月間、ホームステイをしながらカナダ プリティッシュコロンビア大学で語学研修を受講します。

藤田高弘国際交流センター長は、学生に向け「初めて海外に行くという学生も多いので、文化の違いを経験して一ヶ月後は、ひと回り大きくなって元気に帰国してください」と応援の言葉をかけ、大石利光学長は、「海外から日本を見る経験は、今後の人生におい



て視野を大きく広げることができる、体調に気をつけて楽しんでください」と激励しました。

また、随行教員の大西克彦准教授（総合情報学部情報学科）は、「困難な壁にぶつかった時に、成長をするための経験をしていると心に余裕を持って頑張してほしい」とアドバイスしました。

続いて代表の学生が「大阪電気通信大学の学生を代表する自覚、さらに国際人としての自覚を持って、礼節を守



り学生らしく明るく元気にふるまい、目的である語学の研修と国際感覚の修得をすることを誓います」と宣誓しました。

（記事写真ともに母校ホームページ「2018.02.19」掲載より）

「楠正行シンポジウム『楠正行考』小楠公と四條畷市～正行公の生き方と魅力」開催

3月19日（月）、四條畷キャンパスのコナミホールで、四條畷市・産経新聞社主催「楠正行シンポジウム『楠正行考』小楠公と四條畷市～正行公の生き方と魅力」が開催されました。

本イベントでは、総合情報学部デジタルゲーム学科の社会プロジェクト実習の1つ「武将楠正行絵本制作プロジェクト」で、昨年完成させた絵本に

関する発表と朗読、贈呈式を行いました。「武将楠正行絵本制作プロジェクト」は、楠正行の伝承活動に取り組む「四條畷楠正行の会」との制作プロジェクトで、木子香講師の指導のもと、19人の学生が昨年4月より講義や学外での実習を通して絵本制作を行いました。

贈呈式では、大石利光理事長・学長、木子講師と学生2人が登壇し、東修平四條畷市長らに完成した絵本を贈呈しました。今後、四條畷市内の図書館に配架される予定です。



大石理事長・学長は贈呈のあいさつで「地元のお子さんたちに手にとって読んでいただき、楠正行の人柄や歩みについて知識を深めて欲しいと思います。大阪電気通信大学は今後とも地域の皆さんとともに歩んでいきます」と述べました。また、四條畷楠正行の会代表の扇谷昭氏より、本学の平成30年度の社会プロジェクト実習として「楠正行カルタ」の制作が決まったことが発表されました。

今後の学生たちの活躍にご期待ください。

（記事・写真ともに母校ホームページ「2018.03.20」掲載より）



平成30年度各支部総会開催日程

平成29年4月21日

No.	支部名	支部長	平成29年度	平成30年度	内容・場所	
1	関東総支部	深野 隆司	I09	29年度は無し	30/9/22or23予定	東京ゲームショーに合わせて千葉支部と同じ日程で開催
2	北関東支部	山口 文男	H07	29/9/30(土)済	30/10/27(土)予定	埼玉県川越市「湯遊ランド・ホテル三光」
3	神奈川支部	田谷 利明	F07	29/6/10(土)済	30/6/9(土)予定	神奈川県 横浜港
4	千葉支部	神山 清明	H15	29/9/23(土)済	30/9/22or23予定	東京ゲームショーに合わせて関東総支部と同じ日程で開催
5	茨城支部	塩田 義裕	H12	29/10/15(日)済	30/10/13(土)予定	詳細未定
6	東京支部	観野 福太郎	E04	29/12/9(土)済	30/12/8(土)	東京都「都市センターホテル」
7	東海総支部	志村 哲樹	F07	29/6/3(土)済	30年度は無し	
8	静岡支部	久保田 陽一	F05	—————	—————	
9	大阪支部	平岡 臨	I07	29/10/7(土)済	30/7/21(土)	大阪市「世界の大温泉スパワールド」
10	三田支部 (特別支部)	小西 巖	E02	29/5/28(日)済	30/4/15(日)済	兵庫県神戸市「神戸REIホテル」 神戸支部と合併：支部名を兵庫支部に改名
11	神戸支部	幸村 常一	H16	29/4/23(日)済	30/4/15(日)済	兵庫県神戸市「神戸REIホテル」 三田支部と合併：支部名を兵庫支部に改名
12	石川支部	辻 久也	I13	—————	—————	
13	びわこ支部	澤居 比佐夫	H17	29/7/29(土)済	30/10/7(日)予定	滋賀県大津市「あたか飯店」 大津祭りを鑑賞
14	奈良支部	松井 俊樹	I13	29/11/26(日)済	30/12/1(土)～ 2(日)予定	詳細未定
15	京都支部	段安 義彦	F06	29/11/19(日)済	30/11/17(土)予定	京都市「からすま京都ホテル」
16	九州支部	小松 周治	F06	29/10/29(日)済	30/9/30(日)予定	詳細未定

今年の“びわこ支部総会”は 大津祭りを 楽しもう

滋賀に住んでいるあなた 滋賀で働くあなた
そして 滋賀にゆかりあるみなさん！
曳山観賞と懇親会に集いませんか

びわこ支部は「創造のエネルギーを体感し湖国の文化に親しむ」をテーマに
毎年の総会を開催してきました。今年は人が交わるお祭りを選びました。
大津祭りは140年前から始まった国指定無形民俗文化財です。
みなさん誘い合っただけのご参加をお待ちします。 びわこ支部長 澤居比佐夫

日時 10月7日・日曜日 午前10時10分
会費 6,000円/名 同伴3,000円/名
集合 JR大津駅 北口広場（観光案内所付近）
総会・懇親会会場 あたか飯店大津店
（最寄り駅 京阪びわ湖大津駅より徒歩3分）



企画中ですので 詳細や申込み方法は
下記のホームページで ご確認ください
大阪電気通信大学 友電会 びわこ支部
<http://yudenkai-biwako.ddns.net/yb/hp.html>



大津祭り
(写真は「大津祭り」
ホームページより)

「安川情報システム」社長に (東証2部上場) 母校中退の遠藤直人氏

「安川情報システム」(東証2部上場)社長に母校を1976年(昭和51年)に中退した遠藤直人(えんどう・なおと)氏が5月25日付けで就任します。同社は1978年に創業、福岡県北九州市八幡西区東王子町に本社を構える「IoTソリューション」と「ビジネスソリューション」を手掛ける企業。



遠藤氏は、大阪電気通信高校(現・大阪電気通信大学高校)を卒業後、母校を中退した1976年に安川電機製作所(現・安川電機)に入社。2016年に「安川情報システム」常務執行役員、17年に副社長執行役員。

大阪府出身。63歳。

なお、現社長の諸星俊男氏は顧問に就任します。
(写真は「西日本新聞経済電子版」より)

友電会各支部「総会・懇親会」の光景



「平成29年度東海総支部総会・懇親会」(平成29年6月3日に名古屋市で開催)



「平成29年度大阪支部総会・懇親会」(平成29年10月7日に箕面市で開催)



「平成29年度神戸支部総会・懇親会」
(平成29年4月23日に神戸市で開催)



「平成29年度奈良支部総会・懇親会」
(平成29年11月26日に奈良市で開催)



「平成29年度京都支部総会・懇親会」
(平成29年11月19日に京都市で開催)



「平成29年度びわこ支部総会・懇親会」
(平成29年7月29日に豊郷町で開催)

平成30年度友電会通常総会・合同懇親会 平成30年6月23日(土)に寝屋川キャンパスで

友電会 HP <http://www.yudenkai.org/>

【開催概要】

- ・テーマ:「新たなスタート」
- ・日時:平成30年6月23日(土) 午前11時～午後5時
- ・会場:母校・寝屋川キャンパス
エデュケーションセンター(J号館)
- ・会費:2,000円(同伴者、学生、大学教職員、招待者は無料)
- ・合同懇親会:緑樹会、クラブ同窓会、友電会の3団体合同

友電会では、「平成30年度通常総会・合同懇親会」を平成30年6月23日(土)午前11時から午後5時まで開催します。会場は、母校・寝屋川キャンパスのエデュケーションセンター(J号館)です。

合同懇親会は、緑樹会、クラブ同窓会、友電会の3団体共催で開催します。会員はもとより恩師やクラブのOBなど、多くの方々が出席する事になっています。家族連れも多く、ぜひとも会友お誘いのうえ、ご家族を伴ってご出席をお願いします。

記念講演会では、このほど理事長に就任した大石利光理事長・学長。テーマは「学園80周年に向けた取り組み」で大石理事長・学長から「母校の将来像」などを聞けそうです。

■タイムスケジュール

- ・「総会・懇親会」受付開始 午前11時30分～
- ・午前11時00分～ クラブ同窓会総会
- ・午前11時30分～ 全国支部長会
- ・午後12時30分～ 友電会通常総会
- ・午後1時00分～ 緑樹会年次報告会
- ・午後2時00分～ 記念講演会
- ・午後3時00分～ 3団体合同懇親会
- ・閉会 午後5時00分

「記念講演会」

テーマ

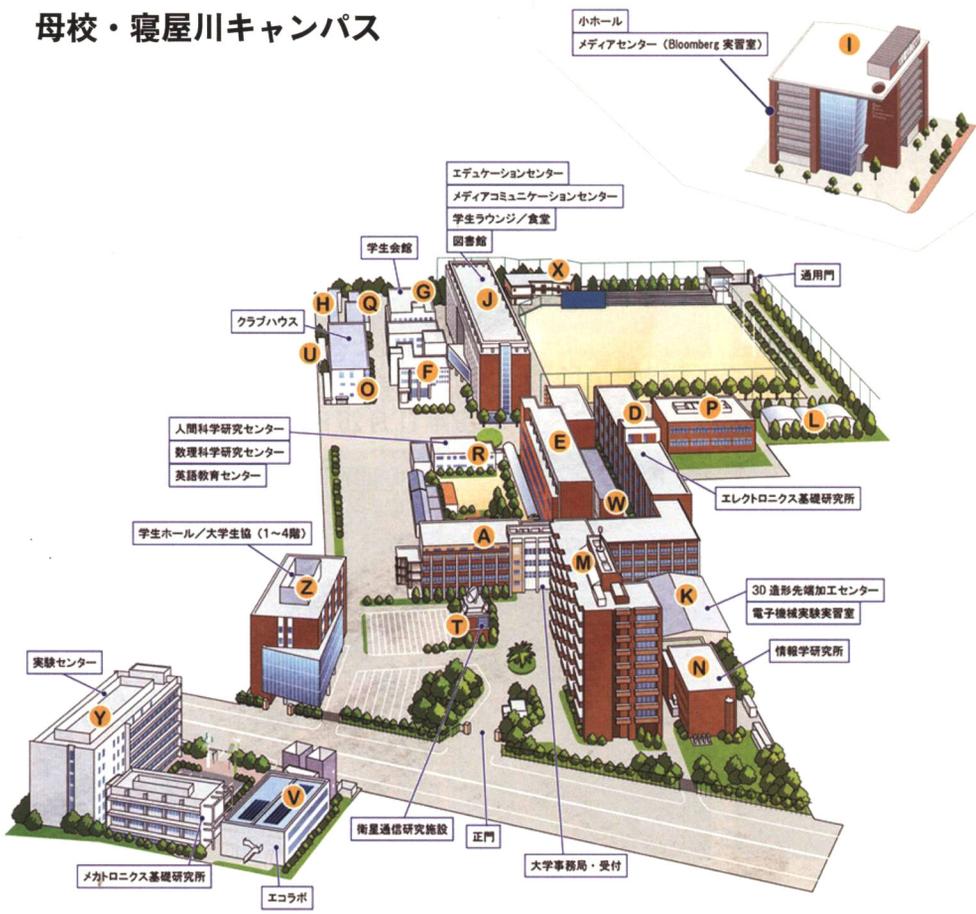
「学園80周年に向けた取り組み」



講師

大阪電気通信大学
理事長・学長
大石 利光 先生

母校・寝屋川キャンパス



通常総会の出欠連絡と 委任状送付のお願い

「平成30年度友電会通常総会」への出欠をお知らせください。欠席される場合は、同封の委任状に必要な事項をご記入のうえ、返信をお願いします。

郵送での返信は6月19日(火)までに投函してください。

FAX、Eメールの返信は6月21日(木)まで可能です。ただし、メールによる出欠、委任状の返信は友電会ホームページからのみ有効です。

友電会 HP

<http://www.yudenkai.org/>